

2010年度 総会資料



2010年5月15日(土)
浦安市文化会館

浦安市国際交流協会

目 次

1. 2010 年度 浦安市国際交流協会総会次第 1
2. 名誉会長挨拶 2
3. 会長挨拶 3

..... 議 事

4. 2009 年度 活動報告 (議案第 1 号) 4
5. 2009 年度 収支決算 (議案第 2 号) 6
6. 役員を選任案 (議案第 3 号) 9
7. 2010 年度 事業計画案 (議案第 4 号) 11
- 2010 年度 U I F A 等主要事業計画一覧表 別表
8. 2010 年度 収支予算案 (議案第 5 号) 17
9. 浦安市国際交流協会会則改正案 (議案第 6 号) 46

..... 資 料

10. 活動報告の詳細
 - ・ 総会・理事会・運営委員会・運営会議 19
 - ・ 言語学習部会 23
 - ・ 文化交流部会 28
 - ・ 姉妹都市交流部会 30
 - ・ 総務研修部会 33
 - ・ 委員会・実行委員会 35
11. 浦安市国際交流協会会則改正案 46
12. 浦安市国際交流協会組織図 52

2010年度 浦安市国際交流協会総会次第

第 1 部

総 会 議 事 (時間：午後1時00分～午後2時00分)

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶
3. 名誉会長 挨拶
4. 議 長 選 出
5. 議事録署名人の選出
6. 議 事
議案第1号 2009年度活動報告
議案第2号 2009年度収支決算
議案第3号 役員を選任案
議案第4号 2010年度事業計画案
議案第5号 2010年度収支予算案
議案第6号 浦安市国際交流協会会則改正案
7. 閉 会

第 2 部

講 演 会 (時間：午後2時10分～午後3時40分)

- テ ー マ 観光を活かしたまちづくり
－姉妹都市交流を活性化するために－
- 講 師 (株)JTB常務取締役(観光立国推進・地域活性化担当)
立教大学観光学部特任教授
清水 慎一氏

第 3 部

交 流 会 (時間：午後3時40分～午後4時20分)

－講師を囲んで－

名誉会長あいさつ

浦安市長 松崎 秀樹

平成 22 年度の浦安市国際交流協会総会の開催にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

浦安市国際交流協会におかれましては、日頃より本市行政へのご支援、ご協力をいただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

浦安市国際交流協会は、設立以来、語学講座の開講や外国人のための日本語クラスの開催、姉妹都市交流事業「友好の翼」の企画、運営、文化交流など多岐にわたった活動を続けており、今後も成熟した団体として一層の発展が期待されております。

昨年度は、平成元年 10 月に米国オーランド市と姉妹都市を提携してから 20 周年という節目の年にあたり 2 月には、「友好の翼」参加者と同時期に私もオーランド市を訪問してきました。

また、浦安市の国際化施策の方向性を示した「浦安市国際化指針」が平成 22 年度で計画期間が終了することから、現在新たな指針を策定しているところであり、「協働と市民参加」による国際交流を推進してまいりたいと考えております。

最近の国際情勢に目を向けてみますと民族や宗教に起因する地域紛争やテロ事件が依然として続いており、決して平和な世界であるとは言えない状況にあります。

このような中、本市における「平和」への取り組みや国際化に対応したまちづくりについて改めて考えたとき、市民主体の国際交流活動や国際協力活動を継続・推進していくことは、非常に大切なことと思っております。

また、本市の人口は現在 16 万人を超え、外国人市民も約 3,600 人を数え、本市においても多国籍、多文化共生の地域社会に変化していく中で、市民主体の国際交流活動が大変重要な意義をもつものと考えております。

国際化を推進している本市としては、国際交流の中核的役割を果たしていただいている浦安市国際交流協会の益々のご活躍に大きな期待を寄せているところです。

21 世紀にふさわしい魅力ある「国際都市浦安」を築くため皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長あいさつ

浦安市国際交流協会
会長 徳田 八郎衛

アイデアがひらめく「非連続思考法（原題：The Forgotten Half of Change）」の著者、リュック・ド・ブラバンデルによれば、日常の生活での「気付き」も次の4つに分類されます。①元々あったものが矢張りあるのに気付く、②以前無かったものが現れたのに気付く、③あったものが無くなったのに気付く、④あってもよさそうなものが、やはり無いのに気付く。では私たちの協会の改革、イノベーション、創造に必要な気付きは何でしょうか。私は④だと思います。③にも注意を払い、時には対処しなければなりません。必要性の減少、あるいは活動の魅力が減少して無くなったのなら諦めるべきです。そして「あってもよさそうなもの」に思いをはせましょう。当協会のホームステイ・ビジット事業や翻訳・通訳ボランティア事業も、この思いから登場したのです。

では資金やマンパワー、専門家の不足などで手が届かなければ、どうするか。選択肢の一つが協同事業です。その代表的なものは「共催」ですが、看板に「共催」とうたわなくても、実質的には協同といえる活動を私たちは度々行ってきました。そして今後も続けて参りますが、それには煩雑な調整や協議も必要となります。そのために計画担当の副会長のポストを新設するよう会則改正を提案しております。

もう一つの選択肢は、男女共同参画に続くヤング・シニア共同参画の活用です。これは現役・退役共同参画と表現することもできます。当協会の創設期に比べれば大幅に進歩した、情報伝達手段、情報処理手段、集会の便宜性を活用し、「もっとあってもよさそうな」ヤング・シニア共同参画を推進しましょう。これは地域の国際化にも関係しています。在住外国人の皆さんは、とにかく若いのです。もっと迎え入れましょう。しかし協同事業においても共同参画においても、両者をつなぐ意欲的なコーディネーターが先ず必要であることを会員の皆様に訴えて、今年度のご挨拶と致します。

2009 年度活動報告

浦安市国際交流協会の 2009 年度活動のうち、全体事業として実施した活動は次のとおりです。実行委員会方式で実施したものだけでなく、ある部会を中核として実施したのものもありますが、部会の枠を超えて協力しています。

1. 5月16日、2009年度総会を実施し、活動報告と新年度活動に関連する議案第1号～5号が承認されました。引き続き元在ウズベキスタン大使、早稲田大学商学部客員教授、河東哲夫（かわとうあきお）氏より「日本の生き方―史上初めて二つの大国に挟まれて―」と題する講演を頂きました。
2. 「東アジア青少年大交流計画」に基づく中国高校生のホームステイは新型インフルエンザ蔓延の恐れから中止され、12月のアフガニスタン高校生のホームステイも夏まで延期となりました。代わりに活発化したのがホームビジットで、5月と1月に明海大学留学生を、11月22日にはJICA招へいのカンボジア青年（法制度整備研修）を受入れました。
しかし8月にはホームステイも受けました。浦安で合気道修行のドイツ女子学生1名の受入れを市役所経由で要請され、2家族で分担して22日間滞在させました。
3. 船橋市国際交流協会が開講して3年目の災害時外国人サポーター養成講座に今年も招へいを受け、7月25日の羽田空港でのセミナーを皮切りに6回のセミナーや訓練に3名が交替で参加しました。
4. 9月12日、駐日ウクライナ大使ミコラ・クリニチ閣下による「ウクライナってどんな国？」と題する講演会がWAVE101で開催され、100名を超える聴衆が同国の歴史・文化から産業・安全保障政策について学びました。英語による講演を見事に通訳したのは二人の翻訳・通訳ボランティア登録会員でした。今年度は海外からの訪日・ホームステイ団体が少なかったため、この登録者の出番も少なかったのですが、6月6日には「翻訳・通訳ボランティアの集い」を国際センターで開催し、当協会創立以来、初めて31名の登録者が一堂に会しました。
5. 暴風雨になった8月30日、姉妹都市交流に寄与してきた友好の翼参加者、青少年派遣生、ランナーズ交流、少年野球交流などの関係者約120名の参加による催し物「オーランド大好き」を文化会館で開催しました。市役所の後援や永年に亘る各団体のご厚誼のお陰で、当協会が地域コーディネーターの役割を無事に果たすことが出来ました。
6. 10月17日、恒例の浦安市民まつりでは、活動紹介のパネル展示と併せ、姉妹都市オーランド関連クイズと「友好の翼ツアー」の紹介を行いました。
7. 11月15日、市役所と共催で姉妹都市提携20周年記念「友好のかけはし2009」を

ショッパーズプラザ新浦安 1 階で開催しました。それに先立つ 1 週間、4 階の市民ギャラリーでも「オーランド展」を実施し、当協会が管理と説明に当りましたが、数々の思い出を持つオーランド訪問者との出会いがありました。また、ここでの広報成果もあって、1 月 31 日に国際センターで開催した姉妹都市提携 20 周年記念シンポジウム「オーランドの魅力」には青少年派遣生も含めて 65 名もの参加がありました。

8. 12月14日、オリエンタルホテル東京ベイで姉妹都市提携20周年記念UIFA年末交流会を実施し、松崎名誉会長を含む108名の来場者は、「ゴールドウイングス」によるジャズオーケストラを楽しみながら食事と交流を楽しみました。

9. 1月16日、ショッパーズプラザ新浦安 1 階で開催された恒例の浦安市国際交流・協力フェスティバルにもブースを設け、活動紹介のパネル展示や姉妹都市に関するクイズを行うとともに、例年のステージ展示に代えてプロジェクターによる協会活動の紹介を行いました。2階でも写真パネルが展示されました。

10. 2月10日、姉妹都市提携 20 周年記念第 17 回友好の翼は、中継予定地のワシントン国際空港が 100 年ぶりの大雪で閉鎖されたため 経路地を変更して翌 11 日出発したものの米国南部でも空港閉鎖という厳しい気象状況に阻まれ、シカゴから先へ進めなくなるという異常な行程となりました。だが最終的にはオーランドへ到達し、祝日の Dr. フィリップス高校で念願のジャパンナイトを実施し、20 周年記念ツアーの目的を果たしてから予定通り 17 日に帰国しました。

11. 通年の活動

外国語講座の運営：2 会場で 9 言語 15 講座を運営、
11 月に「語研フェスティバル」開催

日本語学習支援教室：4 会場で 10 教室、学習者平均約 80 名、支援者平均約 75 名
12 月に日本語学習支援グループ交流会開催

特に本年度は、文化庁よりの受託事業として「うらやす日本語指導能力向上講座」を開設し、7 月から 2 月までの 8 か月にわたる全 20 回全 60 時間の講習会を実施し、市川市・船橋市居住者も含めて 28 名が修了証を受領した（8 割以上の出席）。

協会広報紙「浦安市国際交流協会ニュース」発行：7 月、10 月、1 月、4 月

協会ホームページ <http://members.jcom.home.ne.jp/uifa/>

月ごと、グループごとの活動報告の詳細は、23 ページ以降に記載しています。

2009年度収支決算

一般会計及び特別会計の収支計算について、以下のとおり監事の意見をつけて、報告します。

1一般会計 2009年度決算 収支計算書					
(期間:平成21年4月1日～平成22年3月31日 単位:円)					
	科目	1予算	2実績	3差額(2-1)	摘 要
収入	1 年度会費	850,000	840,435	-9,565	2009年度会費のみ、2010年度は別途
	2 補助金	7,000,000	7,000,000	0	市補助金2009年度
	3 繰越金	822,735	822,735	0	2008年度からの繰越(外国語、本部)
	4 基金から組み入れ	1,246,265	0	-1,246,265	基金の取り崩しはなし
	5 言語学習部会	5,238,000	5,755,000	517,000	講座受講者の増
	5-1 文化庁受託事業	0	714,121	714,121	受託事業費は未収入金計上
	6 文化交流部会	519,000	296,145	-222,855	UFRA 合同研修他参加費
	7 姉妹都市交流部会	15,600,000	4,320,000	-11,280,000	「第17回友好の翼」参加者; 予算 60人計上、実績 26人、その他旅費単価の減
	8 総務研修部会	436,000	409,300	-26,700	年末交流会参加費・市民まつり売上
	(上記4部会を含む20周年記念事業)	(400,000)	(400,000)	0	言語学習、総務研修、姉妹都市交流の各部会で実施
		合計	31,712,000	20,157,736	-11,554,264
支出	1 言語学習部会	5,866,000	5,542,434	-323,566	講師料、会場費、イベント費用
	1-1 文化庁受託事業	0	674,418	674,418	日本語指導能力向上講座運営費用
	2 文化交流部会	780,000	551,252	-228,748	UFRA 合同研修他事業費
	3 姉妹都市交流部会	17,900,000	6,063,008	-11,836,992	第17回友好の翼、旅費補助金
	4 総務研修部会	1,646,000	1,055,054	-590,946	協会ニュース、年末交流会、イベント
	5 本部記念事業	600,000	425,956	-174,044	ビデオカメラ、コピー機
	6 全体事業	200,000	253,972	53,972	総会関係費用、事務所移転費用一部含む
	7 本部経費	4,670,000	4,430,432	-239,568	事務局経費含む。 明細は、付属資料1の通り
	8 予備費	50,000	0	-50,000	取り崩しなし
	9 返納金	0	300,000	300,000	2009年度補助金一部 2010年5月予定
	合計	31,712,000	19,296,526	-12,415,474	
	繰越金 収入-支出	0	861,210	861,210	附属資料2参照

附属資料1		本部経費明細書			単位:円
科目		1予算	2実績	3差額 (2-1)	備考
1	人件費	2,000,000	1,978,312	-21,688	事務局員給料、事務所清掃費用
2	会議費	50,000	28,436	-21,564	理事会・運営会議費
3	消耗品費	180,000	109,876	-70,124	消耗品(事務用品等)の購入
4	印刷・製本費	230,000	188,328	-41,672	コピー代、総会資料印刷代
5	通信費	430,000	395,101	-34,899	電話、インターネット費、協会ニュース配布
6	交通費	20,000	7,240	-12,760	市外研修会参加
7	保険料	80,000	80,142	142	傷害・損害賠償保険料
8	賃借料	1,470,000	1,577,388	107,388	コピー機年間リース料、事務所賃貸料13か月分
9	備品購入費	50,000	16,635	-33,365	備品購入、修繕費
10	支払手数料	10,000	21,725	11,725	銀行手数料
11	ホームステイ・ビジット事業	100,000	4,249	-95,751	ホームステイ・ビジット事業費
12	渉外費	50,000	23,000	-27,000	関係団体との交流費
合計		4,670,000	4,430,432	-239,568	

附属資料2		一般会計資金残高/未収入金/補助金返納金明細書			単位:円
摘要	残高等	内訳		備考	
		2010年度への繰越金	前受金(会費、受講料)		
1	本部小口現金	24,757	15,757	9,000	会費現金2010年度9,000円含む
2	本部預金口座	730,132	431,332	298,800	資金の保管、受入れ、支払い口座
3	本部会費預金口座	121,000	0	121,000	会費一時入金保管銀行口座
4	郵貯金口座	69,320	0	69,320	会費入金郵便口座
5	部会外国語G預金口座	2,059,500	0	2,059,500	前受金は3月の募集時の2010年度の講座料入金分
	小計 1~5	3,004,709	447,089	2,557,620	前受け金のうち、2010年度会費は、計498,120円
6	未収入金	714,121	714,121	0	文化庁受託事業費5月中までに入金予定
7	返納金(予定)	-300,000	-300,000	0	2009年度補助金一部5月中に返納予定
合計 1~7		3,418,830	861,210	2,557,620	2009年度期末資産残高・預金口座はすべて京葉銀行浦安支店

2 特別会計 2009年度決算 収支計算書

期間:平成21年4月1日～平成22年3月31日 単位:円

摘要	2008年度 期末残高	2009年度増減			2009年度 期末残高	
		予算	実績※	差額 実績-予算		
1 基金特別会計	8,419,313	-1,246,265	7,972	1,254,237	8,427,285	
内 訳	(京葉銀行・普通)	5,384,551	-1,246,265	-5,000,525	-3,754,260	384,026
	(千葉銀行・定期)	3,034,762		8,497	8,497	3,043,259
	(千葉銀行・定期)			5,000,00	5,000,000	5,000,000
2 JICA 特別会計	1,571,427	0	0	0	1,571,427	
(京葉銀行・普通)						
計 1+2	9,990,740	-1,246,265	7,972	1,254,237	9,998,712	

※2009年度増減実績の明細

	摘 要	金 額
1基金特別会計	同上 手数料	-525
	定期預金利息組み入れ	8,497
	合計	7,972

監 査 報 告

2009年度浦安市国際交流協会の一般会計、特別会計の決算及び事業の実施状況について、預金通帳その他関係書類を監査したところ、会計手続き及び事業の実施について、適正であったことを報告します。

2010年4月9日

監事 藤岡 順次

監事 内海 照枝

役員を選任

役職名	氏名	所属	備考
名誉会長	松崎秀樹	浦安市長	
顧問	岡本善徳	浦安市議会議長	新任
会長	徳田八郎衛		
副会長	米田喬		
〃	能登洋子		
〃	田中智恵子		新任
会計	小西英雄		
理事	箕輪正美	浦安ロータリークラブ	
〃	金子保久	浦安シーサイドライオンズクラブ	
〃	戸倉恵美子	浦安市婦人の会連合会	
〃	芝田錦一	浦安ライオンズクラブ	
〃	野崎実	浦安市体育協会	
〃	柳内光子	浦安商工会議所	
〃	宇田川秀夫	浦安市自治会連合会	
〃	梅澤隆正	(社)浦安青年会議所	新任
〃	大宮山泉	浦安市小・中学校校長会	新任
〃	増田和彦	浦安市小・中学校PTA連絡協議会	新任
〃	福田昇	浦安中央ライオンズクラブ	
〃	平山クリスティーナ	浦安在住外国人会	
〃	藤原豊太郎	言語学習部会	新任
〃	越茂樹	文化交流部会	新任
〃	重松清弘	姉妹都市交流部会	
〃	米田喬	総務部会	新任

役職名	氏 名	所 属	備 考
副 理 事	大 島 則 夫	浦安ロータリークラブ	
〃		浦安シーサイドライオンズクラブ	
〃	山 本 悦 子	浦安市婦人の会連合会	
〃	熊 切 克 巳	浦安ライオンズクラブ	
〃	宇田川 勉	浦安市体育協会	
〃	小 川 和 裕	浦安商工会議所	
〃		浦安市自治会連合会	
〃	西 川 嘉 純	(社) 浦安青年会議所	新 任
〃		浦安市小・中学校校長会	
〃		浦安市小・中学校 PTA 連絡協議会	
〃	杉 山 民 生	浦安中央ライオンズクラブ	
〃	伊 勢 佳 奈	浦安在住外国人会	
〃	田 中 稔 也	言語学習部会	新 任
〃	森 光 修	文化交流部会	新 任
〃	佐 藤 昌 利	姉妹都市交流部会	新 任
〃		総務部会	

監 事	藤 岡 順 次	U I F A元会長	
〃	内 海 照 枝	浦安婦人の会連合会	

2010年度事業計画案

2010年度には、記念事業や例年と違う特別な事業は計画されていません。だが忘れてはならないものに（社）浦安青年会議所と共催の「Friendly Neighborhood」があります。これは多文化が共生できる地域社会に向けた意識改革を目指すキャンペーンです。その柱の一つである、「浦安を外国人にも住みやすい街にする方策」を探る講演会やパネル・ディスカッションは、当協会の揺籃期に度々行ったものですが、もう一つの柱、在住外国人の困りごと相談にも役立てるツイッターの開設などは、本来、とうの昔にUIFAが手がけているべき事業であります。これらは浦安市が進めている新しい国際化指針の策定に関連する重要な事業であり、当協会も新年度早々に実行委員会を結成してこの共催事業に取り組んでいます。

また今年度は姉妹都市オーランドから Dr. フィリップス高校生が修学に訪日する年ですが、4年前の京都日帰り旅行をさらに推し進め、一泊して京都のみならず奈良も修学させる計画を伝えてきました。市役所からの協力依頼で行うホームステイ支援や教育交流支援だけでなく、協会独自の支援も実施して、遠来の教員および生徒の異文化体験と異文化理解に寄与したいと考えております。

このように他の団体との調整事項が増え、また昨年度のように国や機関に助成事業を申請する機会も多くなってきました。そのため中長期的な事業計画立案や事前交渉も含めて、計画担当の副会長のポストを増設するべく会則改正を提案しております。また事務局を管理する強力な総務部が必要となってきました。これは運営会議の運用を変更することで対処できますが、1年間は試行錯誤が続きます。会員の皆さんの建設的なご意見をお待ち申し上げます。

ここ2、3年に活動実績を示してきた翻訳・通訳ボランティアが今年度から委員会を結成致します。支援依頼を待つだけではなく、資質やスキル向上のセミナーやイングリッシュ・カフェ、国ごとのナショナル・デイ祝賀などを計画中です。青少年会員を惹きつける手掛かりとなるのを期待しております。その他の恒常的な事業は、平年通り実施致します。

言語学習部会

外国語学習グループ

月日	活 動 内 容	目 的・目 標
通年	外国語講座 ハンガル、中国語、インドネシア語、ロシア語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ベトナム語、英語（6講座）の9言語 14 講座を開設する。	海外ならびに地域の外国人との交流を推進するための手段として、外国語の学習と、異文化の理解を進めることを目的とします。
3月	3月末に、前期（4月から9月）受講申し込みの受付を行う。	今回は、新規受講生を優先した受付を行う。
6月	講師と講座受講生代表の懇談会	講座の運営方法等について意見交換を行い、同時に懇親を深める。
9月	新規受講者のための講座見学会	10月からの後期受講生募集に先立ち、体験学習の機会を提供する。
10月	後期受講申し込み受付	継続及び新規追加の募集を行う。
2月	外国語講座見学会	11年度前期受講生募集に先立ち、体験学習の機会を提供する。
3月	語研フェスティバル 外国語および日本語の受講生による学習成果発表ならびに懇談	普段お互いに接触する機会のない、他の講座の受講生、講師ならびにOBなどとの交流の輪を広げる。

* 定例会：毎月第3土曜日に開催します。

日本語学習支援グループ

[日本語学習支援教室]

曜 日	場 所	時 間		定 員
月曜日	国際センター	10:00~12:00		30
	富岡公民館		19:00~20:45	35
火曜日	UIFA 事務所	10:30~12:00		10
	当代島公民館		19:00~20:45	35
水曜日	国際センター	10:00~12:00	13:00~15:00	各 30
木曜日	国際センター	10:00~12:00	19:00~20:45	各 30
金曜日	国際センター	10:00~12:00	19:00~20:45	各 30
金曜日*	国際センター		13:00~15:00	30

* **新設中級クラス** あわせて 11 教室となります。

- ※ 定員は日本語学習支援支援者の人数も含みます。
- ※ 学習者は、浦安市地域ネットワーク課国際交流係で日本語学習支援教室への参加を申し込みます
- ※ 参加費として前期（4月～9月）・後期（10月～3月）各 1,800 円。途中入会は開始月より徴収します。
- ※ 原則として学習期間 2 年間とします。
- ※ 市担当窓口は、学習者の希望教室責任者に連絡し、翌月から学習開始とします。

[研修会]

一般公募により日本語学習支援者募集を目的とした「入門コース」を 2 回開催します。
日本語学習支援者の技術向上のための講習会として、「初心者講習会」2 回と「スキルアップ講習会」を 1～2 回実施予定です。
浦安以外で行われる研修会にも積極的に参加します。

[教室外授業]

各教室の自主活動として、教室外授業を予定しています。
「外国の料理会」、「日本の文化体験」など。

[合同交流会]

全教室の日本語学習支援者・学習者とそれぞれの家族と合同の交流会を実施します。
外国語講座受講生も招待し、教室を超えた国際交流の場となります。（年 1 回）

[特別事業]

- ・市主催の「国際交流・協力フェスティバル」へ参加します。
- ・市民まつりに参加します。
- ・外国語学習グループ主催の「語研フェスティバル」へ学習者による日本語学習の成果発表の場として、参加します。（3月に予定）

* 定例会：毎月第 3 土曜日に開催します。

文化 交 流 部 会

地域の国際交流を図るために、外国文化・日本文化を紹介する企画・運営を行います。

月 日	活 動 内 容	目 的・目 標
7月	明海大学留学生交流事業 「七夕の会」	七夕行事、浴衣の着付け、盆踊りなど日本文化を通して留学生と市民の交流を図る。 目標参加人数：50名
10月	外国文化研修事業	外国の文化・諸事情を知る機会として講演会を開催する。 目標参加人数：70名
11月	UIFA・UFRA合同日帰り研修	日本文化に触れながら外国人との交流を図る。 目標参加人数：30名
1月	明海大学留学生交流事業 「お正月遊びと着付け」	日本の行事や遊びを通して留学生が日本文化に触れ、また、振袖や袴を着用して日本の良さを体験してもらう 目標参加人数：30名

* 青少年海外派遣事業や他部会等の日本文化体験にも協力します。

* 定例会：毎月1回開催します。

姉妹都市交流部会

月日	活 動 内 容	目 的・目 標
5月	総会で「第17回友好の翼」をDVDで紹介	友好の翼のPR
6月	「第18回友好の翼」実行委員会発足 Dr. フィリップス高校生来日歓迎実行委員会発足	実行委員 5名
7月	旅行日程と見積基準の作成。旅行代理店（複数）に見積書の提出を依頼する。	入札方式による旅行代理店選定のため
8月	旅行代理店から見積書の受付。	選定作業
9月	旅行代理店の決定	
10月 10月中旬	「広報うらやす」10/1号及び他ミニコミ誌に参加者募集記事掲載。 10月末で参加者募集の締め切り。 市民まつりの会場で友好の翼事業の広報・宣伝	市民参加者募集のため 目標参加者人数 30名
11月初旬 11月中旬	第1回オリエンテーション Dr. フィリップス高校生来日滞在支援	目標参加者人数 30名
12月 12月初旬	第2回 オリエンテーション 第3回 同上 UIFA 年末交流会で友好の翼事業の広報・宣伝	目標参加者人数 30名
1月 1月中旬	第4回 オリエンテーション 国際交流・協力フェスティバルで友好の翼事業の広報・宣伝、浦安市交流親善人形の会による手作り品販売	市内の国際交流他団体との交流及び活動PR
2月初旬 2月下旬	第5回 渡航前オリエンテーション 「第18回友好の翼」実施 訪問校で親善人形交換式 預かった人形を浦安市内の学校へ届ける	目標参加者人数 30名 人形交流の実施
3月下旬	「第18回友好の翼」・写真交換会の実施	帰国後の親睦交流のため

* 実行委員会は原則毎月第2土曜日 10:00 - 11:30 開催します。

* 浦安市交流親善人形の会は、原則毎月第1・第3月曜日 14:00 - 16:00 に活動します。

総務部会

1. 役割

協会の円滑で効率よい運営のための環境をつくります。

- (1) 会員の資質向上と国際交流、地域国際化への理解を深めるセミナー等を開催します。
- (2) 会員の地域への関心を高め協会への理解を深める地域交流（含む：在住外国人）、地域国際化を推進します。
- (3) 会員相互の啓発と協会への理解に寄与する広報活動を行います。
- (4) 協会事務局業務を統括します。

2. 活動計画

月日	活動内容	目的・目標
4月	総会準備 協会ニュース NO. 93 号発行	資料印刷発注・案内発送・各担当者決めなどを行う。 発行部数：1,200部
5月	総会実施	活動状況の周知と承認・目標参加人数：100人
6月	講演会(シンポジウム)企画	講演会(シンポジウム)のテーマ検討
7月	市民まつり実行委員会立ち上げ 年末交流会実行委員会立ち上げ 国際交流・協力フェスティバル実行委員会立ち上げ 地域交流サロン 協会ニュース NO. 94 号発行	日時・場所・内容の決定 " " 会員と在住外国人との地域交流 発行部数：1,200部
8月	市民まつり企画・準備	テーマ及び詳細内容の決定
9月	地域交流サロン	会員と在住外国人との地域交流
10月	市民まつり参加 協会ニュース NO. 95 号発行	市の施策への協力・UIFA の PR 発行部数：1,200部
11月	年末交流会準備 総会実行委員会立ち上げ・講演会準備 地域交流サロン	内容の最終決定 日時・場所の決定と予約・講師選出 会員と在住外国人との地域交流
12月	年末交流会実施	会員の親睦交流・国際理解・地域交流の促進
1月	国際交流・協力フェスティバル実施 総会準備・講演会準備 協会ニュース NO. 96 号発行 講演会(シンポジウム)実施 地域交流サロン	団体同士の交流及び一般市民への UIFA の PR 資料作成の準備・講師検討 発行部数：1,200部 会員資質の向上・地域国際化促進 会員と在住外国人との地域交流
2月	総会準備・講演会準備	講師決定・担当別資料作成開始
3月	総会準備	資料読み合わせ・印刷発注準備

* 定例会：運営会議後、月1回開催します。

* 市民まつり、年末交流会、国際交流・協力フェスティバル、総会では、実行委員会を組織し、当部会も支援を行います。

* 協会ニュースを4月、7月、10月、1月に発行します。

* ホームページを最低月1回は更新します。

* 市民活動センターのホームページ（UIFAのページ）を更新します。

2010年度収支予算案

1一般会計 2010年度収支予算案				
		期間:2010年4月1日～2011年3月31日		単位:円
科目	収入	支出	摘要	
1	会費	800,000		2010年度会費
2	補助金	6,000,000		市補助金 2010年度
3	前年度繰越金	861,210		2009年度繰越金
4	特別会計から繰入	763,190		JICA 特別会計取り崩し
5	言語学習部会	4,518,000	5,370,400	言語学習事業
	(外国語グループ)	(4,080,000)	(4,504,400)	上記内訳
	(日本語グループ)	(438,000)	(866,000)	
6	文化交流部会	149,000	412,000	文化交流事業
7	姉妹都市交流部会	6,000,000	7,610,000	姉妹都市交流事業
8	総務部会	430,000	1,440,000	地域交流事業、総会関連費用
9	本部経費		4,639,000	事務局経費を含む(明細下記の通り)
10	予備費		50,000	
合計		19,521,400	19,521,400	

本部経費明細書			単位:円
科目	支出金額	摘要	
1	人件費	1,900,000	事務局員給料、清掃費用
2	会議費	50,000	理事会・運営会議費
3	消耗品費	150,000	消耗品の購入
4	印刷費	100,000	コピー代
5	通信費	400,000	電話・インターネット費・協会ニュース配布
6	交通費	20,000	市外研修参加等
7	保険費	80,000	傷害・損害賠償保険料
8	賃借料	1,629,000	事務所家賃・コピー機リース料
9	備品購入費	50,000	備品購入・修繕費
10	支払手数料	10,000	銀行手数料
11	ホームステイ・ビジット事業	150,000	ホストファミリー交流事業、 ホームステイ・ビジット受入れ事業
12	翻訳・通訳ボランティア事業	50,000	新規計上
13	渉外費	50,000	関係団体との交流費
合計		4,639,000	

2 特別会計 2010 年度 収支予算案			
期間:2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日			単位:円
摘 要	2009 年度 期末残高	2010 年度 収支※1	2010 年度 期末残高
1 基金特別会計※2	8,427,285	0	8,427,285
2 JICA 特別会計※3	1,571,427	-763,190	808,237
合 計	9,998,712	-763,190	9,235,522

※1 2010 年度収支

一般会計への繰入（金額については一般会計 2010 年度収支予算案項目 4 参照）

※2 基金特別会計

- 1 協会の行う臨時的な特別な事業の運転・運営資金に充当する。
- 2 年度計画外の事業の臨時の出費に充当する。

※3 JICA 特別会計

最近 JICA 青年招聘事業が改編されて以降、2010 年度も 2009 年度に引き続いて、UIFA の受け入れ可能なプログラムがなく、2010 年度の収支は特にありません。
年度計画の一般会計への繰入金に充当する。

以上

2009 年度活動報告の詳細

総会・理事会・運営委員会・運営会議

月日	活動内容 会場 参加人数	活 動 の 詳 細	審議事項等の 結果・結論
4/18	運営会議 協会事務所 14名 理事会 市民サロン5 16名	【審議事項】 1. 総会議案 1～5号について 前年度規約（会則）細則改正に伴う字句修正を実施 【報告事項】 1. 会計監査終了について 2. 相手先の事情による明海大学ホームビジット受入と文化交流部会の研修旅行の同時実施について 3. 各部会（新役員・新事務員紹介）・浦安市（姉妹都市提携 20周年記念行事を 11月22日実施するようダイエーと調整中）より 【審議事項】 1. 総会議案 1～5号について 【報告事項】 各部会・各団体・市役所より	→市役所職員の理事・副理事選出を中止するよう修正して可決 →受入の実行委員長に山上晃子さん →原案通り可決
5/16	定期総会 文化会館 中会議室 60名 文化会館 大会議室 80名 運営会議 文化会館第2 会議室 16名	1. 会長挨拶 2. 名誉会長挨拶 3. 顧問挨拶 4. 議長選出 5. 議事 2008年度活動報告（議案1号） 2008年度収支決算報告（議案2号） 役員の選任（議案3号） 2009年度事業計画案（議案4号） 2009年度収支予算案（議案5号） 6. 講演会 演題：「日本の生き方—史上初めて二つの大国に挟まれて—」、講師：元在ウズベキスタン大使、国際ブロガー、早稲田大学商学部客員教授 河東哲夫（かわとう・あきお）氏 7. 交流会 【審議事項】 協会ニュース7月号について 【報告・連絡事項】 1. 部会ごとに20周年記念行事考案を要望 2. 事務所ゴミ処理要領の指示 3. 各部会・浦安市・事務局から	→いずれも原案通り可決 →原案通り可決

6/20	<p>運営会議 協会事務所 12名</p>	<p>【審議事項】 1. 文化庁事業の受託について 2. 事務所管理・清掃（外部への委託）について 3. 8月30日姉妹都市提携20周年記念協会行事实施と実行委員会結成について 4. 特別会計の資金残高のうち500万円を定期預金とする件について</p> <p>【報告・連絡事項】 1. ホームビジット終了報告 2. JICAとの青年研修受入調整報告 3. 翻訳・通訳ボランティア初集会終了報告 4. 各部会・浦安市・事務局から</p>	<p>→いずれも原案通り可決 →・実行委員長に徳田会長 ・友好の翼実行委員会結成承認・実行委員長に重松部会長</p>
7/18	<p>運営会議 協会事務所 14名</p> <p>理事会 文化会館第2会議室 18名</p>	<p>【審議事項】 1. 協会ニュース10月号について 2. ①浦安市民祭（10/17）②国際交流・協力フェスティバル（1/17）③年末交流会（12/13）の実行委員会結成について（①姉妹都市交流、②言語学習、③文化交流各部会が担当） 3. 8月運営会議休会と9月運営会議の9/12開催について 4. 国際センターとの調整会議の9月運営会議冒頭に開催する件について</p> <p>【報告・連絡事項】 1. 経費削減策および当年度予算修正指示 2. 各部会・浦安市から</p> <p>【審議事項】 なし</p> <p>【報告事項】 UIFA（主要な活動を会長がまとめて報告）・各団体、浦安市から</p>	<p>→いずれも原案通り可決 →各実行委員長は未定</p> <p>→市の姉妹都市提携20周年記念事業は11/15ショッピングプラザで当協会との共催で実施</p> <p>→特に長期ビジット受入支援を各団体に要請</p>
9/12	<p>国際センターとの調整会議</p> <p>運営会議 協会事務所 12名</p>	<p>伊東国際センター長の出席を得て、初回調整会議を冒頭に開催、研修室利用の規定厳守を要望された</p> <p>【審議事項】 「友好の翼」旅行代理店決定について</p> <p>【報告事項】 1. 会長から「オーランド大好き」終了報告 2. 会計から予算見直し報告 3. 各部会（うらやす日本語指導能力向上講座発足など）・委員会・実行委員会・浦安市から</p>	<p>→UIFA 言語学習事業への特例を確認 →条件付で原案通り可決 →・三役の分担見直しで会計がホームステイ・ビジット委員会担当 ・経費削減で10月から土曜日事務局閉鎖</p>

10/24	運営会議 協会事務所 13名	【審議事項】 1. 次年度総会日程について (5/15) ○5月度運営会議は別日に開催 (5/22) ○反省会は同日実施 3. 総会実行委員会結成について 【協議・報告事項】 1. 友好の翼実業者選定の事後承認 2. 各部会・委員会・会計・浦安市から (協会ニュース手造りなどによる収支改善策など)	→いずれも原案通り可決 →・カンボジア青年ホームビジット実行委員長に能登副会長、アフガニスタン・ホームステイ実行委員長に若杉啓子さん ・休日の事務所利用マニュアル
11/21	運営会議 協会事務所 12名 理事会 市民サロン6 14名	【審議事項】 1. 協会ニュース1月号(モノクロ版)について 【協議・報告事項】 1. 年末交流会・語研フェスティバル準備報告 2. オーランド展・20周年記念行事終了報告 3. アフガニスタン・ホームステイ春へ延期の報告 4. 会計・各部会・委員会・浦安市から 【審議事項(ブレインストーミング)】 UIFAが団体会員に期待すること 【報告事項】 1. 会長から(浦安市民大学での講義) 2. 各部会・団体・浦安市役所から	→原案通り可決、 →中間会計監査終了の報告 →特に友好の翼への参加を要請
12/13	運営会議 協会事務所 12名	冒頭に伊東国際センター長の挨拶「登録団体が当初の9から21へ増加、公平利用の原則にご理解を」 【審議事項】 1. 英語上級会話講師の契約延長中止について 【協議事項】 1. 年末交流会報告と今後の在り方について 2. 会則改正について(計画担当の副会長ポスト新設) 3. コピー機の更新と機種選択について 【報告】 1. カンボジア受入、語研フェスティバル、日本語学習者交流会終了報告 2. 各部会・委員会・浦安市から	→原案通り可決、 →・来年の会場を12月11日で予約 →提案を承認

1/16	運営会議 協会事務所 10名	<p>【審議事項】</p> <p>1. 明海大学ホームビジットへの経費支出</p> <p>2. 次年度役員人事</p> <p>【協議事項】</p> <p>1. 総務研修部会の強化について（副会長の一人を部会長に充て、各部会から1名ずつ部会員を差し出し、名称を総務部会に改める）</p> <p>2. 次年度に翻訳・通訳ボランティア委員会結成</p> <p>【報告・連絡事項】</p> <p>1. 会計・各部会・浦安市から</p>	<p>→原案通り可決</p> <p>→一部の部会役員は未定のまま</p> <p>→いずれも提案を承認</p>
2/20	運営会議 協会事務所 13名	<p>【審議事項】</p> <p>なし</p> <p>【協議事項】</p> <p>1. 役員人事について</p> <p>【報告事項】</p> <p>1. 17回友好の翼、大雪で難渋の報告</p> <p>2. コピー機にリコー製品選択の報告</p> <p>3. 明海大学のホームビジット受入終了報告</p> <p>4. 文化庁受託事業終了報告（29名修了、8名皆勤）</p> <p>5. 各部会・委員会・浦安市から</p>	<p>→総務研修部会は組織改編待ち、姉妹都市交流部会は未定</p> <p>→追加請求金額と協会・個人負担額の案分を至急確定</p>
3/20	運営会議 協会事務所 12名	<p>【審議事項】</p> <p>1. 友好の翼追加旅費への協会支援について</p> <p>2. 総会議案について</p> <p>【審議事項】</p> <p>1. 青年会議所との協同事業について</p> <p>【報告事項】</p> <p>1. 各部会・委員会・浦安市から</p>	<p>1は原案通り可決、2は一部修正して可決</p> <p>→事業を承認</p>

言語学習部会

部会長 三浦 紘二 副部会長 榎本 宏邦
会計 江面 富美子 (外国語) 藤原 豊太郎 (日本語)

一年を振り返っての感想

外国語学習グループの活動

2009年度は、前年に引き続き、英語講座7講座、その他の外国語講座8講座、合計15講座を開設しました。受講生は前期225名、後期215名で過去最大でした。

当講座では、英語以外の言語を8講座開設していることを特徴として挙げる事が出来ますが、英語以外の講座については、一部の言語を除き、従来必ずしも大勢の方が参加していただいているとはいえませんでした。昨年は、ハンガリー語、フランス語、スペイン語、イタリア語などの受講生が大幅に増加しています。ベトナム語、中国語、インドネシア語、ロシア語については、未だに受講生の数が伸びないのが悩ましいところです。一般市民に対し、より積極的なPR活動をしていくことが必要と考えています。

会場が確保できないために08年度は中止した「語研フェスティバル」は11月に無事開催することが出来ました。ただ、今後とも3月に開催することについては、会場確保の面で困難が伴うことが予想されます。また、開催に当たっては企画、運営等ならびに実施面で多大なマンパワーを必要としており、今後の開催頻度、内容については検討が必要かと思われました。

この講座では、受講生自らが講座の運営に必要な業務を行うことを前提に運営されていますが、残念ながら受講生全てにこの考え方が浸透しているとは言いがたく、実際には一部の人に過大な負担がかかる状況が昨年も続いています。これは、講座の期間を原則2年としているので、在籍期間が2年程度の短期間の人が多く、運営に関する経験や知識を蓄える期間が無いのが理由です。

講座担当者（ボランティア）に対して、継続登録に便宜を与えるなど積極的なインセンティブを考慮する必要を感じました。

日本語学習支援グループの活動

今年は例年の定例行事に加え8ヶ月の長きに亘るうらやす日本語指導力向上講座が開催されたり国際交流・協力フェスティバルでUIFAが全体の実行委員会を主導することになって言語部会がその幹事委員を担当する順番に当たっていたりと種々動きの多い1年でした。

8月には懸案の火曜午前クラスが協会事務所で開講し全体で10教室が活動中です。また学習支援者や学習者への迅速確実な情報提供のため日本語グループにホームページ担当チームが発足しほぼ初期の目的を達成し情報の迅速化と共有化が進みました。

年2回5日間の研修講座を通して計15名の新規登録学習支援者が生まれましたが、一方では不況の影響でか、このところ学習者が夏の最盛期に比べ若干減少してきています。学習支援者育成策は順調に成果を挙げつつありますがUIFAの更なる発展のためには来期に向けて学習者の募集勧誘にも力を入れ底上げを図る努力と工夫が大切です。

外国語学習グループの主な活動

月日	事業	活動内容と成果
通年	外国語講座の開講 前期・後期、各15回、1回1時間半の有料講座を開催	次の9言語15講座を開講した。開講講座は、ベトナム語、ハンダ、中国語、インドネシア語、ロシア語、フランス語、スペイン語、イタリア語、英語会話入門、ネイティブの使う英語表現、身につく実用英会話、初級英会話、中級英会話、上級英会話、時事英語入門です。参加人数：前期 225名 後期 215名
3/20～22	前期（4月～9月）受講生募集受付	今年度は、2年課程の2年目のため、継続者優先の受付を行った。国際センターを使った初めての受付のため、混乱防止対策に気を使ったが、特別の混乱は無かった。 申込受付 225名
6/14	講師・受講生代表懇談会	出席講師 7名 講師ならびに外国語グループ新役員の紹介、今年度の年間予定・実施方法などについて講師に紹介した。 講師を交えて、教育課程・レベルの違う生徒が混在した時の教育方法についての意見交換などを行って終了した。
9月	講座見学会	10月の受講生募集に備えて、受講希望者を対象に、各講座各1回見学会を開催した。今回からは事前受付を省略したが、この変更により、担当者の作業量を大幅に削減できた。
9/27～28	後期受講生募集受付	前期からの継続受講生及び追加受講生の募集をおこなった。 今回で継続受講生優先の受付方法については確立できた。 申込受付 215名。
11/29	語研フェスティバル	08年度3月に開催場所が取れなかったため11月に実施した。 姉妹都市提携20周年を祝って、冒頭にプロ舞踊団のフラメンコの演舞を行い会場を圧倒した。また、徳田会長によるUIFAの活動紹介も、普段あまりUIFAの活動に関心の無い受講生にとって新鮮な刺激であった。 参加者約240名。
2月	講座見学会	2010年度前期の受講生募集に備えて、受講希望者を対象に、各講座1回ずつ見学会を開催した。
3/27～28	2010年度 前期受講生募集受付	国際センターを利用する初めての新規受講生優先募集のため、準備に万全を期し、会場での混乱を抑えることが出来た。最終的な受講申込人数は、187名で予定数を達成することが出来た。

日本語学習支援グループの活動

1. 日本語学習支援教室の活動スケジュール

曜日	場所	時間	
月曜日	国際センター	10:00～12:00	
	富岡公民館	19:00～20:45	
火曜日	UIFA 事務所	10:00～12:00	
	当代島公民館	19:00～20:45	
水曜日	国際センター	10:00～12:00	13:00～15:00
木曜日	国際センター	10:00～12:00	
	国際センター	19:00～20:45	
金曜日	国際センター	10:00～12:00	19:00～20:45

2. 研修講座

☆日本語学習支援者入門・初心者、同スキルアップ講座

場所：国際センター 研修室

事務局：谷口、小泉、榎本

講座名	講師	日程	時間	受講者数	学習支援者への登録数
入門・初心者講座	松本明子先生 (千葉市国際交流協会講師顧問)	5月31日(日)	13:30~16:30	15	7
		6月7日(日)		11	
		6月21日(日)		21(質問会・現役7名含む)	
スキルアップ講座	岩佐靖夫先生 (明海大学講師)	11月14日(土)	13:30~15:30	14	
入門講座	松本明子先生	2月6日(土)	13:30~16:30	25	8
		2月13日(土)		25	

☆うらやす日本語指導能力向上講座 (文化庁から委託された事業)

場所 マーレ2階 国際センター 研修室1&2

事務局 藤原豊太郎実行委員長 能登洋子 榎本宏邦 松枝文恵(講義録担当) 谷口優子 小泉保子

講師陣 明海大学 多仁安代講師(主任講師) 櫻井教授 片桐准教授 岩佐講師

実施期間 7月~2月 全20回 60時間 (日曜17:30~20:30)

授業形態・修了証等

	内容	回数	学習支援者(人)	学習者(人)	備考
授業	通常講義	15	29		
	明海大授業参観	6	26		
	授業実習	5	29	延べ40	
証書	修了証受領者		28		出席回数8割以上
	皆勤賞受領者		8		

効果 講義は理論、教授法のみならず、実際の外国人学習者を前にしての授業実習も行われ、受講者の日本語指導力が確実に向上を遂げた(多仁先生講評) また、全135頁にわたる講義録(HPに収録)は、渾身の力作で当グループの財産である。

3. 日本語学習支援グループ交流会

開催日：12月6日(日) 10:30~14:30 場所：美浜公民館大集会室

実行委員：森岳三実行委員長他11名 実行委員会 4回(9月~11月)

交流会参加者数

参加者	人数	備考
学習支援者	56	ビンゴ景品約150点の寄付あり
学習者	44	日本語検定日と重なったのが反省点
一般	30	市長の来臨あり
合計	130	

評価 学習者のステージ演技、全員参加の「ジェンカじゃんけん」、ビンゴなどで会場が大いに盛り上がった。

4. 国際交流・協力フェスティバル（浦安市と関連団体13団体との共催）

開催日：1月17日（日） 場所：ショッピングプラザ

実行委員（全体）徳田八郎衛委員長 幹事委員：言語学習部会（三浦紘二・榎本宏邦）

*今年度はUIFAが全体の実行委員の指名を受け順番で言語学習部会が幹事役を務めた。

参加形態

1階主会場 (1月17日)	展示ブース 2スパン	外国語、日本語、文化交流、姉妹都市、ホームステイ・ビジット、総務各部会からパネル6枚展示。
	ステージ	UIFA活動をスクリーン投影して濱田倫子さんが解説。
2階通路 (1月8日～17日)	展示ブース 1スパン	日本語グループがパネル1枚展示。
	展示ブース背面 2スパン	UIFA活動パネル6枚を窓越しに外の通路へ向かって展示。

5. その他の日本語学習支援グループの主な活動

月日	教室・場所	内容	活動
5/14	木曜 AM 教室	茶話会	授業終了後 30 分間フリートーキング
5/29	金曜夜教室	〃	新しいボランティア紹介。その後懇談 1 時間。
6/11	木曜 AM 教室	サリー着付け	学習者ラージさんにサリーの着方を教わる。
9/07	月曜 AM 教室	料理会	今年はペルー、タイ、中華料理を学習者と作る。
9/12	HP 担当チーム	HP 更新	第 1 回勉強会を実施。
9/14	月曜夜富岡教室	交歓会	授業の始まる前にお茶で懇談して絆を強めた。
10/14	市民まつり	実行委員会	市役所前庭 UIFA 展示場に日本語教室よりパネル展示。
10/16	金曜夜教室	親睦会	秋の夜長、お茶を飲みながら歓談した。
10/19	月曜夜富岡教室	ポットラック	学習者のベトナム料理と支援者のたこ焼きに舌鼓。
10/19	金曜 AM 教室	懇談会	全員参加で和気あいあいと懇談した。
10/17	図書担当	蔵書整理	書庫を整理。事務所に 76 冊、センターに 120 冊。
11/15	友好のかけはし	実行委員会	ブースで展示パネルの説明とクイズラリー。
11/29	語研フェス	舞台出演	ベトナム学習者 2 人とベトナム語講師が合唱。
12/19	教室リーダー他	忘年会	一兆で忘年会を開いて慰労親睦会。10 名参加。
2010/ 1/21	木曜 AM 教室	新年会	お茶とお菓子で新年会を開いた。
2/23	火曜夜当代島教室	茶話会	日頃会話のない仲間とサンドイッチを食べながら歓談。
3/03	水曜 AM 教室	懇親会	桜餅を食べながら折り紙で内裏雛を作りひなまつり開く。
3/07	指導力向上講座	打ち上げ会	受講者 14 名が多仁講師を囲んで健闘を称えあった。
3/15	月曜夜富岡教室	交流会・歓送会	ボラ持ち寄りの食事の後将棋倒しゲーム。24 名参加。
3/19	金曜夜教室	歓送迎会	学習者・支援者の歓送迎会に全員出席し懇親会。

3/19	金曜 AM 教室	懇親会	授業後、教室を去る人達のお別れ会を兼ねて懇親会。
------	----------	-----	--------------------------

6. 2009 年度 日本語学習参加者数 (月別、教室別)

クラス	適用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月曜日 AM 国際センター	学習者	7	6	6	9	8	9	8	7	8	6	8	7
	学習支援者	7	7	6	9	8	11	8	8	8	6	8	10
月曜日夜 富岡公民館	学習者	13	14	14	14	14	10	13	13	14	14	10	12
	学習支援者	14	15	15	15	15	14	13	14	15	14	15	13
火曜日 AM UIFA 事務所	学習者					1	1	1	1	1			
	学習支援者					1	1	1	1	1			
火曜日夜 当代島公民館	学習者	3	5	4	4	8	6	7	9	8	8	7	7
	学習支援者	6	5	5	6	9	7	8	8	8	8	10	7
水曜日 AM 国際センター	学習者	9	11	8	11	10	12	12	12	12	12	10	9
	学習支援者	8	10	7	12	12	12	13	12	12	12	11	10
水曜日 PM 国際センター	学習者	6	7	8	8	7	6	6	5	6	6	7	6
	学習支援者	6	7	8	8	7	6	6	5	6	6	7	6
木曜日 AM 国際センター	学習者	4	4	6	6	3	3	1	3	4	4	4	4
	学習支援者	4	4	6	6	3	3	1	3	4	4	4	4
木曜日夜 国際センター	学習者	7	9	11	10	9	8	9	8	8	9	9	9
	学習支援者	9	8	11	11	11	8	9	9	8	9	10	10
金曜日 AM 国際センター	学習者	12	15	16	16	14	14	12	9	10	12	11	10
	学習支援者	14	15	16	16	14	14	14	12	14	13	12	12
金曜日夜 国際センター	学習者	6	7	7	7	7	7	7	7	6	6	5	7
	学習支援者	7	8	8	7	7	8	7	7	7	7	5	8
合計	学習者	67	78	80	85	81	76	76	74	77	75	71	71
	学習支援者	75	79	82	90	87	84	80	79	83	79	82	80

文化交流部会

部会長 永末 美知子 副部会長 後藤 陸子
会 計 城戸 励二

一年間を振り返っての感想

年間5つの事業を計画と立てて、外国文化や日本文化の紹介・体験を通して、市民と外国人との交流を図りました。また横断事業である市民まつり、国際交流・協力フェスティバル、年末交流会の事業にも協力しました。

在住外国人交流事業は5月新緑の映える中陶器の里益子を訪れ、美術館や酒蔵店を見学。また自然の美しい龍王峡を散策しながら市民と外国人が交流を深めました。世界遺産の日光東照宮や田母沢御用邸記念公園では日本の伝統文化を満喫し大変に意義深い研修の旅となりました。

明海大学留学生交流事業は夏の「七夕の会」、新年の「お正月遊びと着付けの会」の二つを開催。和太鼓の演奏は若者の心をとらえその演奏にあわせて婦人の会のメンバーの指導を受けながら踊った盆踊りは忘れがたい思い出になりました。また「お正月の会」では百人一首やカルタ遊び、美しい和紙を使った葉製作、振袖・袴の着付など初めて触れる日本文化に大満足の様子でした。

外国文化研修事業は「ウクライナ」の英語による講演会を行い大好評でした。大使自らスライドを使いながらウクライナの魅力を紹介され、大変にわかりやすく興味深い講演でした。今回初めて翻訳通訳ボランティア二人に英語の通訳をお願いしました。これからもこの種の講演会を部会のコア事業として続けていく予定です。

市からの委託事業「青少年海外派遣生の日本文化体験」はオランダへ派遣される中高生が日本文化を理解し現地で紹介できることを目的としたものです。茶道と振袖・袴の着付の体験をしましたが、日本文化を初めて知る良い機会をなりました。現地で得た貴重な異文化体験を将来何かに活かして欲しいと思います。

本年度の事業を恙無く遂行することが出来たのも多くの人々のサポートの賜物と感謝しております。会を活性化するためいかに新メンバーの増加を図るかが今後の大きな課題の一つです。

月日	事業	活動内容と成果
5/23 -5/24	在住外国人交流事業 UIFA・UFRA 益子鬼怒川一泊研修	陶器の里益子で外池酒蔵店や浜田庄司の生家を見学後美術館、藍染工房など自由散策。鬼怒川温泉では龍王峡を散策した後、日光へ。東照宮と田母沢御用邸記念公園の二組に別れ見学。日本の歴史・文化・自然に触れる良い機会だった。参加：27名
7/4	明海大学留学生交流事業 「七夕の会」	浴衣着付け、七夕笹飾り、和太鼓演奏、盆踊りなど夏の行事を通して日本文化を紹介、交流を図る。 場所：明海大学30周年記念会館 参加者 73名
8/5	明海大学留学生交流事業 フェアウェル パーティー	前期台湾、韓国短期留学生送別会に出席 場所：明海大学 参加者 2名
8/30	姉妹都市提携20周年記念事業 「オランダ大好きな人集まれ」	活動紹介のパネル展示 場所：文化会館大会議室 参加者 2名

月日	事業	活動内容と成果
9/12	外国文化研修事業 英語による講演会 「ウクライナってどんな国？」 (日本語通訳付)	ウクライナ大使が国旗の由来、気候風土、地理、歴史、産業、教育など一般事情をスライドを使い講演。会場に入りきれない程の参加希望がありお断りをした人も出た。講演会前に松崎市長が大使と会談した。 場所：市民プラザWAVE101 中ホール 参加：93名
10/17	市民まつり参加	部会紹介のパネルの展示・クイズ 場所：市役所駐車場 参加：2名
12/13	年末交流会	テーマ：「姉妹都市提携20周年記念年末交流会」 (交流部会担当) 場所：オリエンタルホテル東京ベイ 参加：106名
1/17	国際交流・協力フェスティバル 参加	部会紹介のパネル展示、クイズ 場所：ショッピングプラザ 参加者5名
1/23	明海大学留学生交流事業 お正月の遊びと着付けの会	百人一首、カルタ遊び、和紙人形葉作成、振袖・袴着用体験を通して日本文化に触れる。 場所：明海大学第2管理研究棟 参加：44名
2/4	明海大学留学生交流事業 フェアウェルパーティー	後期台湾・韓国短期留学生送別会に出席 場所：明海大学 参加：2名
2/7	青少年海外派遣事業 日本文化体験	オランダへ派遣される中高生15名が茶道と振袖・袴の着付け体験 場所：文化会館和室 参加：30名

※ 他に、定例会を毎月1回開催しました。

姉妹都市交流部会

部会長 重松 清弘

会計 醍醐 佑季

一年を振り返っての感想

2009年6月初旬、「第17回友好の翼」の基本コンセプトを作った後、旅行代理店の選定作業に入り候補を5社に絞り込んだ。その後、5社に対して見積書の提出を要請した。ここまでは良かったのだが、見積書の提出を受けて、どの旅行代理店に決めるかで実行委員会の中で紛糾した。こちらの見積の方が数百円安いからこちらを選ぶべきとか、この旅行代理店は過去数回連続して使っているので、今度は他社を選ぶべきとか。一概に友好の翼をお任せする旅行代理店選びは簡単なことではない。よく言われることだが、旅行は目に見えない商品といわれている。それゆえ、旅行の品質を見極めることは非常に困難です。そこで、どうしても絶対的信頼をおける旅行会社を選択する必要があります。

第17回では実に予期せぬことが色々起こった。出発月の2月に入って米北東部を襲った記録的な大雪の影響をもろに受け、友好の翼の成田からの搭乗予定便は経由地であるワシントンD.C.が悪天候という理由で欠航となり、この日は浦安に引き返し、翌日経由地を変更して1日遅れで着いたシカゴでも接続便が2度も欠航になった。しかもこの時期、米国はWinter Week (or Ski Week)と呼ばれる行楽期でもあり、空港は大混乱状態となっていた。こんなことになるなんて、代理店選びをしていた昨年の9月ごろ誰が予想したことであろうか。

しかしこれは現実の問題であり実際に起こったのである。実際、本邦系航空会社A社でシカゴに到着したとき、A社の空港スタッフは親身になって代替接続便をさがしてくれたし、同行のK社添乗員は接続便の座席獲得のために航空各社と渡り合ってくれた。おまけに、接続便が出発するまでの空白となった二日間、シカゴ観光まで見事にこなしてくれた。

この人たちのお陰で無事に帰国できた今、昨夏のあの航空会社や旅行代理店選びば一体なんだったのかなと振り返って考えている。

月日	事業	活動内容と成果
2009 6/13	姉妹都市交流部会 6月度部会会議の 開催	今年度の会計担当者として内田さやかさんと醍醐佑季さんをお願いする。 姉妹都市提携20周年記念行事スケジュールについて説明する。 「第17回友好の翼」の概略について説明する。 その他として、新型インフルエンザの世界的大流行の今後の見通しと友好の翼催行の可否判断について話し合う。
7/11	第1回実行委員会 の開催	「第17回友好の翼」催行の可否について、新型インフルエンザの状況を見ることとし、現段階では行く方向で進めることとした。 友好の翼の実施日を2010年2月10日～17日に決定する。 見積基準が出席者全員により了承された。
8/08	第2回実行委員会 の開催	7/末に旅行代理店6社に見積依頼書を発送し、8/05に代理店への説明会を実施した旨報告する。

月日	事業	活動内容と成果
9/09	臨時実行委員会の開催	旅行代理店は2社（KNT & JTB）に絞られた。その後、実行委員挙手の結果2対2となり結論が出なかったため、9/12に開催される運営会議に上申することになった。
9/19	第3回実行委員会の開催	実行委員長より、9/12に開催された運営会議ではどちらの代理店にするかについて結論が出なかった旨の報告があった。
10/10	第4回実行委員会の開催	旅行代理店は近畿日本ツーリストに決定した。 10/01付「広報うらやす」に参加者募集の記事掲載。
10/17	イベント参加	第12回浦安市民まつりに参加する。
11/07	第5回実行委員会と第1回オリエンテーションの開催	参加者応募状況（この時点で33名）と今後の対応について話し合った。また、本日よりオリエンテーションが始まり、KNTも参加して旅行説明が行われた。
11/15	イベント参加	姉妹都市提携20周年記念イベントに参加する。
12/12	第6回実行委員会と第2回オリエンテーションの開催	参加応募者は29名となる。 旅行費用を16万円と決定する。 ジャパンナイトでの文化紹介グループの編成を行う。
2010 1/09	第7回実行委員会と第3回オリエンテーションの開催	参加者は27名となる。オリエンテーションにおいては、人形交換行事についての説明、ホームビジット希望者の確認、部屋割りの確認等を実施した。盆踊り練習を開始する。
1/23	第8回実行委員会と第4回オリエンテーションの開催	歌と盆踊り練習。ハッピーの配布。
2/06	第9回実行委員会と第5回（最終）オリエンテーションの開催	出発直前の最終確認を実施する。 人形交流について、辻村氏より説明を受ける。 2/10出発日の集合時間0740を確認。
2/10 ↓ 2/17	第17回友好の翼の実施	参加者27名全員が7時40分、市駐車場に集合。8時、市職員、UIFA関係者に見送られて一路成田に向かう。成田空港にて、経由地ワシントンD.C.が大雪のため搭乗予定便欠航を知らされ、一旦浦安に引き返すこととなる。翌日再出発となり、この後色々とイレギュラーに遭遇したが、全員一致団結して友好・親善の旅を無事終えて予定通り2/17日17時文化会館に帰着。
3/31	親善人形交流	オーロ ビスタ小学校から青少年海外派遣生が預かってきた親善人形「プリンセス ティアラ」を、北部小学校に届けた。

第17回友好の翼プログラム

	日付	日程	内容・目的	
			計画	実施
1 日 目	2010年 2/10(水)	(AM) 浦安市総合駐車場 出発	市長挨拶 成田出発後、 ワシントン D.C. 経由オ ーランドへ	9日経由地をシカゴに変更。 成田にてシカゴ以遠の接続便欠航 となり、浦安に引き返す。
		(PM) オーランド着		参加者全員で協議の結果、旅行継 続で合意。
2 日 目	2/11(木) 公式行事	(AM) エオラ湖散策 市庁舎訪問・オーラン ド市長表敬訪問	記念撮影 市庁舎見学	成田を定刻 11 時 20 分出発し、シ カゴに 11 日 7 時 50 分定刻通り着。
		(PM) 図書館訪問 Dr. フィリップス高校 ジャパンナイト	図書館運営システム視察 オーランド市民に日本の 伝統文化の紹介体験、踊 り等で交流を深める。	シカゴを見物する。 12 日の搭乗予定便欠航の連絡が 入る。 (全員シカゴ泊)
3 日 目	2/12(金) 公式行事	(PM) Orlo, Vista 小学 校訪問	親善人形交換を通じた国 際交流、全校授業参観、 合唱・楽器演奏鑑賞	シカゴにて終日フリーとなる。
		(PM) 老人福祉施設訪問 歴史博物館訪問	視察 フロリダの歴史研修	(全員シカゴ泊)
4 日 目	2/13(土) 自由行動	(AM/PM) ホームビジット (希望者のみ)	(市外観光) OP. ウォルト・ディズニ ー・ワールド, その他 アミューズメント・パー ク	① グループ 5 名空港にて搭乗予 定便欠航。 ② グループ 22 名予定便に搭乗。 2115JAX に到着。 (5 名シカゴ泊, 22 名オーランド泊)
5 日 目	2/14(日) 自由行動	(AM/PM)	(市外観光) OP. セントオーガスティ ン 日帰り観光	①グループ予定便に搭乗し、 0917JAX に到着。 ②グループはケネディ宇宙センタ ー観光を実施。 打上げ夕食会(全員オーランド泊)
6 日 目	2/15(月) 自由行動	(AM/PM) 打ち上げ夕食会	(市外観光) OP. ケネディ宇宙センタ ー 日帰り観光	オーランド市内観光実施。 Dr. Phillips 高校にて、ジャパ ンナイトと人形交換セレモニーを 実施。(全員オーランド泊)
7 日 目	2/16(火)	(AM) オーランド出発	シカゴ経由成田へ	シカゴ経由成田へ
8 日 目	2/17(水)	(PM) 成田着 浦安市文化会館着	着後解散	15 時成田着 17 時浦安市文化会館着 解散

総務研修部会

部会長 田中 智恵子

副部会長 多田 英輔

会 計 多田 英輔

一年を振り返っての感想

「在住外国人のための地域交流サロン」は、初年度から 18 回に及びました。在住外国人との交流事業は緊要な課題ですが、サロン開催には困難な点もあり、試行錯誤しながら実施して参りました。今年の外国人発信サロン（自国の生活・文化・歴史・家庭料理などの紹介）としての試みに、大勢の参加者が楽しく交流できたことは幸いでした。

姉妹都市提携 20 周年記念事業「オーランド大好き」に続く「オーランド展」、「友好のかけはし 2009」を担当し、広く一般市民や他交流団体との交流を図ることができました。

毎年恒例のシンポジウムは、姉妹都市提携 20 周年を記念し、「姉妹都市・オーランドの魅力」と題し、講演とパネル・ディスカッションを実施しました。参加者のオーランドへの関心が高まことを実感するとともに、友好の翼ツアーの PR にも一役買ったように思います。

組織化されていない翻訳・通訳ボランティアの活動として「ボランティアの集い」と「研修会」を担当し、翻訳・通訳ボランティア委員会の基盤作りを支援しました。

尚、「国際交流こどもフェスティバル」は、近年対象となる在住外国人が減少していることとスタッフ不足のため、開催を断念いたしました。

月日	事業	活動内容と成果
4/8 4/9 4/25	協会ニュース 89 号発行 総会用案内はがき 発送 シンポジウム報告書発行 定例会	1400 部印刷、発行、配布。 総会資料 印刷、発注。 1/18 実施「在住外国人は何を求めているか」要旨 12 冊 総会準備
5/9 5/16 5/16	総会準備 総会実施 講演会、交流会の実施	打ち合わせ 議案 1～5 号全て承認。 特記すべき質問、討議事項なし。 場所：文化会館 総会 78 名 “日本の生き方—史上初めて二つの大国に挟まれて—” 講演者：元在ウズベキスタン大使 早稲田大学商学部客員教授 河東 哲夫氏 講演会 92 名 交流会 74 名
5/26	定例会	各事業計画の見直し
6/23 6/6	定例会 翻訳・通訳ボランティアの集い	これまでの活動報告及び参加者同士の交流会 参加者 32 名（内新規登録者 15 名）
7/1 7/19 7/21	協会ニュース 90 号発行 市民まつり実行委員会設立 国際交流・協力フェスティバル実行委員会設立 年末交流会実行委員会設立 定例会	1400 部印刷、発行、配布。 担当は姉妹都市交流部会 担当は言語学習部会（日本語グループ） 担当：文化交流部会

月日	事業	活動内容と成果
8/15	外国人のための災害ボランティア講習会	ボランティア講習会に会長及び翻訳・通訳ボランティアより1名参加。 場所：船橋市
8/18	定例会	
8/30	姉妹都市提携 20 周年記念事業「オーランド大好き」	交流団体のパネル展示及び口頭による成果報告、交流事業参加者の再会の場。 担当：U I F A 会長 参加者：約 120 名 (U I F A 主催・浦安市後援)
9/22	定例会	シンポジウム準備・パネリストの折衝
10/1	協会ニュース 91 号発行	1400 部印刷、発行、配布。
10/3	第 16 回地域交流サロン	テーマ「カナダ・カナダ人・日本人についてお話し」 講師：ボニエツキ氏（カナダ出身英語教師） ゲスト 7 名（外国人 6 名・日本人 1 名）
10/9	臨時会議	シンポジウム準備
10/17	第 12 回市民まつり参加	U I F A の活動紹介パネル・クイズ・友好の翼 P R 担当：姉妹都市交流部会
10/27	定例会	
11/14	第 17 回地域交流サロン	テーマ「日本の家庭料理を作って味わう」 ゲスト 11 名（外国人）
11/10	姉妹都市提携 20 周年記念事業「オーランド展」	姉妹都市交流の歴史、市内交流団体の交流の成果発表、市民公募写真展など（場所：市民ギャラリー）
11/15	「友好のかけはし 2009」	オーランド紹介、市内交流団体の交流の成果発表、クイズラリーなど。（場所：ショッピングプラザ） 担当：総務研修部会（U I F A ・浦安市主催）
11/19	定例会	総会実行委員会立ち上げ
11/28	翻訳・通訳ボランティア研修会	テーマ「医療現場での通訳」講師：崔 華氏ほか在住外国人パネリスト 2 名 参加者 15 名（外国人 4 名・日本人 11 名）
12/13	年末交流会実施	テーマ「人と人との交流を目的に楽しいひと時を」 場所：オリエンタルホテル東京ベイ 参加人数：120 名 担当：文化交流部会
12/22	定例会	シンポジウム準備
1/10	協会ニュース 92 号発行	1400 部印刷、発行、配布
1/31	シンポジウム実施	姉妹都市提携 20 周年記念・シンポジウム「オーランドの魅力」基調講演：サム・田渕氏 他パネリスト 参加者 65 名。パネリスト、スタッフ総合計 74 名参加
1/16	第 18 回地域交流サロン	テーマ「世界の家庭料理（韓国編&中国編）」 ゲスト 18 名（外国人 6 名・日本人 12 名）
1/19	定例会	
2/23	定例会	総会準備
3/23	定例会	総会準備

ホームステイ・ビジット委員会

委員長 伊藤 孝敏 会 計 長坂 桂子

本事業を振り返っての感想

ホームステイ・ビジット委員会として2年目、昨年度に続き登録家庭と委員の確保という課題に直面しながらのスタートとなりました。年間の事業では残念ながら、新型インフルエンザの国内感染等の影響もあり、インドネシア高校生、中国高校生、南アジア高校生の3つの計画が見送りとなりました。登録家庭の拡大という点では、広く市民にホームステイ・ビジット実施のお知らせを行うと共に、未経験の家庭、経験の浅い家庭へのノウハウ等の提供を継続する様にしてきました。既存の登録家庭についても、疑問や不都合だと感じている点を明確にし、1つずつ対応していく事に取り組んできました。委員の不足という点では、具体的なアクションに移すことができませんでした。委員も全員ボランティアで構成されており、来年度はホームステイ・ビジット計画から準備の段階まで実施内容を各家庭にも知って頂き、皆さんと共に実施する事業を目指して行きたいと考えています。

浦安は国際交流に関心の高い家庭が多いと知られており、要請元からは非常に高い評価も受けています。実施している事業をはるかに超える多くの要請が来ているのも事実です。今年度受入れをされたホストファミリーの皆様には、ご協力いただきました感謝を申し上げますと共に、今後、より充実した受入れができるよう、皆様のお力添えを頂きたいと思っております。

月日	事業	活動内容と成果
5/23	明海大学特別聴講学生, 別科生ホームビジット	特別聴講生 10 名、別科生 17 名をホストファミリー11 家庭で受入れ。
8/22-9/12	ドイツ学生 ホームステイ	学生 1 名、8/22～9/5 ホストファミリー 1 家庭受入れ。 9/5～9/12 ホストファミリー 1 家庭で受入れ。
9/25	カンボジア青年、 アフガニスタン高校生 ホームステイ受入れ 家庭の募集案内	JOCA 主催のカンボジア法整備研修訪日期間中の 10/31 ホームビジット及び、外務省主催訪日期間中の 12/12, 13 ホームステイ受入れ家庭の募集開始。
10/31	カンボジア青年 ホームステイ受入れ 家庭への事前説明会	JICA 木野本様を講師に迎え、カンボジア事情や簡単なクメール語を紹介頂く。実行委員含む 16 名参加。
11/22	カンボジア青年 ホームステイ	青年 19 名、ホストファミリー 8 家庭で受入れ。 浦安に到着後、郷土博物館見学、国際センターにて歓迎会開催。
1/28 :中止	「アフガニスタンを知ろう」講演会	アフガニスタン高校生を受け入れる家庭への事前説明会を兼ね、JICA の講師を迎え、アフガニスタンについての紹介を頂く予定でしたが、来日予定が急遽延期になる旨連絡が入り、講演会及び、ホームステイを延期。
1/30	明海大学特別聴講学生, 別科生ホームビジット	特別聴講生 16 名、別科生 11 名をホストファミリー20 家庭で受入れ。

明海大学留学生ホームビジット 実行委員会

実行委員長 能登 洋子

会計 長坂 桂子

委員 大橋 英敏、大野 佑子、伊藤 孝敏

本事業を振り返っての感想

日本留学中、日本語、日本の文化、風習を学びながらも、日本人と交流する機会がなく帰国する学生が多い事を残念に思い、交流の場を提供しました。

日本語があまり上手に話せない学生が多かった様子でしたが、一生懸命英語や筆談を交えて話しをし、楽しい時間を過ごすことができた様子でした。

日本の家庭に初めて入り、日本料理を食べたり日本の生活を教わり、日本語でのコミュニケーションをとることができ、学生達に貴重な体験をしてもらうことができました。また機会があったら参加したいと、喜んでいただき、この事業を今後も続けて行きたいと思いました。

また受入れ家庭も短い時間でしたが、学生達の一生懸命日本語で日本に来た目的や将来の夢、国の文化などを語る姿から、その国を身近に感じることができ、とても有意義な時間を過ごすことが出来たと喜んでくださいました。

月日	事業	活動内容と成果
4/10	ホームビジット事業受諾	明海大学留学生（別科性、特別聴講生）のホームビジット受入れ受諾
4/29	ホストファミリーへ受入れのお願い	書状 113 通を発送
5/1	参加者申し込み締め切り	別科性 18 名・特別聴講生 12 名 計 30 名
5/7	明海大学との打ち合わせ	当日の集合場所の確認
5/23	ホームビジット	13:00 明海大集合 13:30 マッチング後各家庭へ 14:30 解散 受入れ家族が 1 家庭不参加となり急遽 1 家庭 4 名をお願いした。

ドイツ女子学生ホームステイ受入れ

ホームステイ・ビジット委員長 伊藤 孝敏
会計 長坂 桂子

本事業を振り返っての感想

浦安市役所からの要請による、ドイツ女子学生 1 名、22 日間のホームステイです。比較的長い期間のホームステイという事で、まず期間を通して受入れ可能な家庭を募集しましたが、受入れ可能な家庭がなく、募集に苦勞をしました。その後、前半と、後半に分け 2 家庭での受入れに調整をし、確定しました。

学生の到着初日（8 月 22 日）は市役所泉澤補佐に国立オリンピック記念青少年総合センターまで迎えに行き、浦安市文化会館にて 2 家庭一緒にマッチングしました。その後、研修場所となる海楽の養神館に向かい、館長と研修生と顔合わせを行い、その後 1 家庭目でのホームステイを開始しています。

9 月 5 日に 2 家庭目にバトンタッチし、9 月 12 日にホームステイを終了しました。期間中は学生を囲み 2 家庭一緒に食事を共にするなど、学生とホストファミリーの絆が強まった様です。

週末の短期間に国際交流を希望するホストファミリーだけでなく、平日を活用して、より長い期間の国際交流を望むホストファミリーもあり、今後受入れを検討する際の参考となりました。

月日	事業	活動内容と成果
7/14	市役所より要請	UIFA として受入れの方向で検討
7/14	募集開始	個人に直接声掛け
7/15	募集案内	H S 登録家庭に募集案内一斉メール発信
7/27	市役所に回答	受入れの回答
8/3	受入れ家庭決定	前半と後半に分け、2 家庭にて受入れを決定
8/13	期間中のスケジュール確認	市役所よりスケジュール入手 受入れ家庭へ提供
8/18	送り迎えについて市役所と打合せ	送り迎えにの場所・時間等を打合せ
8/22	学生受入れ	文化会館 1 階にて対面、研修先の養神館見学後ホームステイ 9/5 まで前半、9/5 から後半の 2 家庭にて受入れ
9/12	お別れ	ホストファミリーのご好意により、直接東京スポーツ文化会館までお送りし、お別れした。

JICA 青年研修カンボジア法制度整備ホームビジット実行委員会

実行委員長 能登 洋子 会計 長坂 桂子
委員 伊藤孝敏、山上晃子、若杉啓子、高橋共子、濱田倫子
通訳 白木聖代、藤原豊太郎、木村陽子、藤尾妙子、スダカラン、フルザンメル
大野佑子、池田美帆子

本事業を振り返っての感想

JICA の依頼によりカンボジア法制度研修生 27 名のホームビジットを行いました。事前に受け入れ家族を対象に、JICA 木野本様によるカンボジアの生活習慣等の講演会を行い、カンボジア事情や簡単な挨拶等クメール語の講習を受けました。

当日、10 時浦安到着後、郷土博物館で浴衣を着たり日本の遊びを楽しんだ後、11 時 15 分に国際センターにてホストファミリーとのマッチングと懇親会を行い、各家庭へ移動しました。郷土博物館では、翻訳通訳ボランティアの協力をお願いしました。

16 日間の研修のなかで唯一日本の文化にふれ、体験でき、研修生は大変喜んでくれました。

ホストファミリーも家でのんびり過ごしたり、買い物や散歩に行ったりと楽しいひと時を過ごすことができました。

24 歳から 34 歳まで年齢に幅のある研修生受け入れでしたが、皆友好的でカンボジアの将来を担う若者達と交流ができ有意義なホームビジットとなりました。

月日	事業	活動内容と成果
9/17	青年海外協力協会	「青年研修事業」の協力依頼。 カンボジア法制度整備研修生受け入れ決定。
10/1	募集	「広報うらやす」にてホストファミリーを一般公募。 「UIFA ニュース 10 月号」で募集。
10/27	募集締め切り	応募者の家族構成、ペットの有無、喫煙者の有無を確認する。
10/27	駐車場・郷土博物館の手配	11/22 (日) 10 時～17 時までのバスの駐車場確保を市に依頼する。 郷土博物館へ学芸員の依頼。冬季で浴衣着つけ体験は行っていないが、特別に着せていただけるよう依頼。
10/31	ホストファミリー説明会	JICA 木野本様を招きカンボジアの事情、簡単なクメール語の講習会を開催。ホストファミリー同士の交流も行った。
11/12	懇親会の食糧予約	新浦安ダイエー・アトレでサンドイッチ、いなり寿司、お菓子、飲み物、果物等の予約をした。
11/22	ホームビジット	10 時浦安着→郷土博物館→国際センターへ移動→ホストファミリーとマッチング→懇親会→ホストファミリー宅へ移動→ホームビジット→総合駐車場集合→お別れした。

明海大学留学生ホームビジット実行委員会

実行委員長 小西 英雄 会計 能登 洋子
委員 伊藤 孝敏、長坂 桂子

本事業を振り返っての感想

今年度、5月に引き続いて、留学生の卒業前または帰国前に時期を選んで、明海大学留学生、別科学生（日本語学習が目的で留学）と聴講生（短期間留学）を対象として1日のホームビジットを1月30日午後を実施しました。

予定では、参加の留学生は別科学生17人、聴講生18人の合計35人であったが、当日留学生参加者は全体で27人とどまり、多少の混乱がありました。受け入れた家庭は、予定通り20家庭でした。

留学生の日本語の能力は、お互いの会話には十分で、午後からの短い時間であったが、留学生からは、家庭の日常生活に触れ、貴重な経験となり、帰国前の楽しい思い出となったと聞いています。

ホームビジットを受入れていただいた各家庭の皆さんには、ご協力をいただきありがとうございました。アンケート結果を今後にかし、より有意義な活動に励みたいと思います。

月日	事業	活動内容と成果
11/19	打ち合わせ	明海大学と計画打ち合わせ。
12/10	募集案内	登録家庭90家庭へ募集案内を郵送。 協会ニュース1月号掲載。
	ホームページ	2009年度活動予告の掲載。
1/8	臨時メール送付	メール登録者へ 応募家庭を再度募る。
1/9, 18	打ち合わせ	明海大学と留学生参加人数・受入家庭について打ち合わせ。
1/19	受入20家庭への案内	各家庭の受け入れ留学生の氏名、国籍等、当日の受け入れ要領について、通知を郵送。
1/27	年間経費負担方法その他について説明	年間経費負担方法について説明、ご協力をお願いをする。 受入家庭に対して経費一部uifa負担することについて説明。
1/30	留学生と受入家庭のマッチングおよびホームビジット	留学生27名と受け入れ家庭のマッチングを当日13時から明海大学にて行い、引き続き各家庭へ。
2/4	各家庭へお礼状を発送	無事終了につき、各位のご協力に対して謝意を述べる。
2/15	アンケート回収	有意義であったこと、その他今後の活動に参考となる意見がよせられた。

姉妹都市提携20周年記念年末交流会実行委員会

実行委員長 原 一男 会計 小西 英雄

実行委員 永末 美知子、後藤 陸子、池田 秀子、金子 保久、小芝 繁
森光 修、城戸 励二、能登 洋子、大野 佑子、三浦 紘二
江面 二三子、佐藤 昌利、山上 晃子

本事業を振り返っての感想

市長ほか市の関係者のご出席もいただき、参加された108名の会員及び友好団体や一般市民の皆さんが交流を楽しみ、相互理解が一層深まったと思います。姉妹都市提携20周年を記念して、米国の南部を発祥の地とするジャズの演奏もお楽しみいただきました。

月日	事業	活動内容と成果
8/13	第1回実行委員会	ホテルとの交渉内容、目標人員、予算、アトラクションなどにつき意見交換し、主たる担当者を決める。 場所：UIFA 事務所 参加人数：11名
9/8	第2回実行委員会	ホテルとの交渉結果の報告、会費決定、当日の役割分担、タイムテーブル検討、アトラクションに関しての交渉経過報告。 場所：UIFA 事務所 参加人数：12名
10/1	準備作業	チケット、チラシ・ポスター、ラッフル券印刷。 場所：UIFA 事務所 参加人数：4名
10/5	第3回実行委員会	会場、案内状、アトラクション、チケット、チラシなど準備状況の確認。 場所：UIFA 事務所 参加人数：8名
10/13	準備作業	案内状発送準備。場所：UIFA 事務所 参加人数：2名
10/20	準備作業	テーブル振分け作業と案内状の発送。 場所：UIFA 事務所 参加人数：4名
11/21	打合せ	ホテル、バンド代表との三者打合せ。 場所：オリエンタルホテル 参加人数：3名
11/25	第4回実行委員会	準備状況の確認と当日の役割分担の再確認。 場所：UIFA 事務所 参加人数：10名
12/11	準備作業	プログラムの作成ほか最終準備と荷物の搬出作業。 場所：UIFA 事務所 参加人数：5名
12/13	年末交流会 11:00-14:00	プログラム：会長挨拶→市長ご挨拶→乾杯→食事、交流、ジャズ演奏→ラッフル、お楽しみ抽選会→閉会 場所：オリエンタルホテル ジャズ演奏：ゴールドウイングス・ジャズオーケストラ 参加人数：108名
12/13	反省会	反省会で出た感想や意見を送り書として纏め、次年度実行委員の参考に供する。尚、2010年度の交流会会場として、2010/12/11(土) 11:00 - 14:00 オリエンタルホテルを予約済み。

姉妹都市提携20周年記念「友好のかけはし2009」実行委員会

実行委員長 田中 智恵子 会計 多田 英輔

実行委員 徳田 八郎衛、米田 喬、大野 佑子、重松 清弘、立山 豪、
内田さやか、醍醐 佑季、後藤 陸子、小芝 繁、三浦 紘二、
榎本 宏邦、辻村 聖子、山上 晁子

本事業を振り返っての感想

1989年10月23日に浦安市とオーランド市が姉妹都市提携して以来、多くの市民が教育・文化・スポーツなどを通して交流を深めてきました。今年20周年を記念し、オーランド観光局の協力を得ながら、オーランド市を紹介し、広く市民に姉妹都市について理解を深める場とし、また、次代を担う青少年交流をはじめ、市民主体の姉妹都市交流を一層深めていくために、浦安市とUIFAの主催により実施しました。

<オーランド展> 来訪者数：228人（6日間延べ人数）

来場者の多くは友好の翼に参加したあるいは予定の人、オーランドに住んでいた人、HS受入れを体験した人など。今までご縁のなかった人も、これまでの交流に対する評価と今後への期待・応援、オーランドへの関心・認識は高まったと思います。

<友好のかけはし2009>

ステージでは、オーランド観光局によるオーランド市の紹介、ビデオメッセージ、各団体による交流の成果発表を、ブースでは、交流紹介パネル、団体PRパネル展示、賞品付きクイズコーナーなどを行いました。NASA宇宙服試着撮影もしました。

UIFAは、ステージで昨年の「友好の翼ツアー」参加者にインタビューを行い、ツアーのPR効果を狙いました。UIFAが受け持ったクイズラリーには、250名の参加がありました。

これらの展示は常時市の施設で行われ、小学生、中学生も参加できる交流イベントがあれば、市民の姉妹都市交流への関心が高まるのではないかと思います。

月日	事業	活動内容と成果
7/18	実行委員会立ち上げ	担当は総務研修部会。各部会より実行委員選出。
8/8	第一回実行委員会	実行委員長選出。イベント内容の概略説明と今後の予定。
10/24	第二回実行委員会	地域ネットワーク課より、イベントの詳細説明を受ける。
10/31	第三回実行委員会	ステージ、ブース、クイズラリーの企画検討と決定。各役割担当決定。備品、用具等の最終確認と準備。
11/10- 11/15	「オーランド展」開催	オーランド姉妹都市提携の歴史、団体による都市交流のパネル展示、写真展、交流親善人形の展示ほか。場所：市民ギャラリー
11/15	「友好のかけはし2009」開催	姉妹都市交流の成果発表、パネル展示、交流親善人形の展示など。ステージ、ブース共に、「友好の翼ツアー」PRを前面に出し、クイズラリーにも参加。場所：ショッピングプラザ1F

第12回浦安市民まつり実行委員会

実行委員長 重松 清弘 会計 田中智恵子
実行委員 佐藤昌利、立山 豪、醍醐佑季、多田英輔、三浦紘二、榎本宏邦、
永末美知子、後藤陸子、伊藤孝敏、小西英雄、米田 喬、能登洋子、古瀬義勝

本事業を振り返っての感想

UIFA の活動を多くの市民に知ってもらうために、また理解と親しみを持ってもらうために本年も参加した。今年の重点目標は、4部会及びホームステイ・ビジット委員会の活動内容を各部会員自らが来場者に説明することと、姉妹都市提携20周年を記念して実施される「第17回友好の翼」のPRに努めることとした。

今回特徴的であったのは、クイズを通じて来場者と多くの、また楽しい会話が出来たことであった。約80名の方がクイズにチャレンジしたが、設問をヘルプすることによって若干ではあったがフロリダの歴史や友好の翼の訪問地オーランドやその周辺について説明したり、質問を受けたりすることによって、友好の翼やフロリダ及びオーランドについてより深い関心を持っていただけただけだ。

今回は約200名の方々がUIFAブースを訪問されました。今回の活動を通じて、UIFA全般について親近感を抱いていただけたと確信します。このことが、UIFAの会員や友好の翼参加者の増につながることを期待しております。

月日	事業	活動内容と成果
2009 10/03	第1回実行委員会	市民まつり・実施要領を作成し、それに基づき打合せを行った。 当日の要員配置・集合時間についても確認しあった。
10/10	第2回実行委員会	各自の役割分担の再確認。 展示するポスター、チラシの選別。 クイズの問題作成と賞品の準備を完了した。 友好の翼・相談コーナーの準備を完了した。 横断幕を市民活動センターにて制作し完了した。 17日当日の物品搬出のための要員アサインを完了した。
10/17	市民まつり参加	会場設営・物品搬入・搬出 約200名の訪問を受ける。 午後4時閉店。
10/18	後片付け	UIFA事務所にて

姉妹都市提携20周年記念「オーランド大好き」実行委員会

実行委員長 徳田 八郎衛

実行委員 田中智恵子（設営・会計）、能登洋子・長坂桂子・高橋共子（リフレッシュメント）、
米田喬（写真）、辻村聖子（人形）、重松清弘（友好の翼）、小西英雄（設営）、古瀬（設営）、佐藤
昌利（運搬・空手）、当日スタッフ 内田さやか・醍醐祐季・本田沙織ほか多数の会員
派遣生のスタッフ 宮國青海（司会）・板垣悠太

本事業を振り返っての感想

姉妹都市交流に寄与してきた方々に再会や知りあう場、交流実績展示の場を提供し、20年間の姉妹都市交流を多角的、複眼的に眺めて今後の交流事業改善に資するという意欲的な構想であったが、前年度末に発足するはずの実行委員会が開催日の2か月前という、誰が見ても間に合わない時点で結成されたため、何名の来場者があるのか不安のまま当日を迎えた。さらに総選挙で暴風雨という悪条件も加わったが、友好の翼参加者、青少年派遣生、ランナーズ交流、少年野球交流などの関係者約120名の参加を得たのは驚きであった。「団体毎に10分以内での成果報告」は守られず、各団体による報告会の時程は大幅に伸びたが、これは15周年記念事業でも体験済みで大きな混乱には至らなかった。団体構成員にも個人来場者にも様々な交流活動への理解と感動を与え満足感をもってお帰り頂くことができた（出口調査による）。元青少年派遣生や少年野球及び保護者の参加もあって、通常のUIFA集会とは異なり、若い世代の姿が多かったのも新鮮であった。新聞社の取材もあり、選挙報道一色の翌朝刊に写真入りで報じられたが、青少年も参加できる姉妹都市交流の必要性を痛感させられた。

事業の概要

日時場所：2009年 8月30日（日）14:00～16:00 文化会館大会議室（借用9:00～17:00）
参加各団体の活動概要と姉妹都市交流実績の小冊子を配布すると共に各団体の交流パネル展示と口頭報告を行った。「なぜ姉妹都市を必要としたのか（提携時国際交流課長辻村聖子さん）」、青少年海外派遣事業（市青少年課岩井係長）、ランナーズ交流（浦安ランナーズクラブ清野会長）、少年野球（派遣団の川口監督）、UIFAの幅広い交流（UIFA徳田会長）、今年度の友好の翼（UIFA重松姉妹都市交流部会長）の順に実績と成果が述べられた。

月日	事業	活動内容と成果
6/20	運営会議で実行委員長決定	翌週、事務所で実行委員と個別に打合せ
7/26	拡大実行委員会	夕刻、国際センターで青少年課、浦安ランナーズクラブ、少年野球レッドシャーク監督と打合せ会議、企画書配布
7/27-8/1 8/18-8/29	展示準備	事務所でパネル展示の写真・横断幕等印刷 各団体の交流活動紹介の小冊子作成
8/1	専門実行委員会	事務所で当日提供の軽食・飲物について打合せ
8/29	実行委員会	翌日のイベントについて事務所で最終打合せ
8/30	イベント実施	機材の搬送とイベント実施、アンケート回収

浦安市国際交流・協力フェスティバル実行委員会

実行委員長 徳田八郎衛 会計 榎本宏邦

実行委員 三浦紘二、榎本宏邦（言語部会が幹事）、能登洋子、田中智恵子、多田英輔
重松清弘、後藤陸子、森光修、伊藤孝敏

本事業を振り返っての感想

平成 22 年 1 月 17 日（日）、浦安市と関連 13 団体合同実行委員会との共催により国際交流・協力フェスティバル 2010 がショッピングプラザ新浦安 1 階広場で開催されました。UIFA も多くの市民に自分達の日頃の活動状況を紹介して理解を深めていただき、一人でも多くの人に私達の活動に参画してもらう事を目的に参加しました。

各部会・委員会から選出された実行委員が趣向を凝らして日常活動紹介のパネル 6 枚を作成し一階主会場ブースに展示しました。実行委員のみならず一般会員も参加して来訪者の呼び込みや応対、説明に奔走しました。これにはクイズラリーも一役買って多くの家族連れが立ち寄りてくださいました。また一方ではステージに設置したスクリーンに日頃の活動映像を映し出し女性ナレーターが若々しい声で紹介する演出も披露されました。しかし他の団体のブースに比べ必ずしも「集客力」が高かったとは言えません。よそのような海外から取り寄せた小物即売品などに比べ「目玉商品」がなかったためです。次回からは何か来訪者の耳目を集める小品を開発する必要があるでしょう。

圧巻だったのはアトラクションとしてのステージ演技でした。沖縄エイサーから始まってインドネシアやタイの民族音楽、フラダンス、ブラジルサンバなど魅力あるプログラムが目白押しであまりの観客の多さに後日ダイエーから苦情が出ほどです。

主会場とは別に 2 階通路では 8 日から 17 日の 10 日間日本語グループのパネルが展示（無人）されました。そばに置いた教室案内パンフレットは時折補充を要するほどでした。また新趣向としてブースの裏面を利用して UIFA 紹介のパネル 7 枚を貼り付け窓越しに外からだけ見える工夫もしました。

反省点はあるものの私達の日頃の活動を市民の方々に知ってもらうという面では会場が来訪者の多いダイエーの屋内広場ということも手伝って大きな効果があったものと確信しています。

月日	事業	活動内容と成果
12/05	第 1 回 UIFA 実行委員会	展示パネル等出展品の確認、ステージ演目の協議、当日の展示品搬入の段取り、ブース当番割り振り、クイズ内容の決定。
12/25	臨時 UIFA 実行委員会催	会場搬出入品と要領の確認。会場設営担当者と受付当番割り振りの決定。
2010 1/10	最終 UIFA 実行委員会	搬出品、搬出入要領、担当者の最終確認。

翻訳・通訳ボランティアの活動報告

月 日	件 名	参加人員
11/28	登録者への研修講座「医療現場での通訳」 講師：順天堂病院医師 崔華会員	13
9/12	駐日ウクライナ大使講演通訳	2
11/22	カンボジア青年法制度研修生通訳	6
		総計 18

浦安市・教育機関関連会議・行事等への参加

	件 名	開催回数	参加延べ人数
1	浦安市ふるさとづくり推進協議会理事会	6	6
2	同協議会花火大会安全祈願式・大会・清掃	3	3
3	男女共同参画推進会議	7	7
4	青少年海外派遣事業選考会議	3	3
5	同事業団結式・報告会	2	4
6	明海大学別科特別聴講生歓迎会・歓送会	4	26
7	浦安市国際化指針策定懇話会	4	4
8	オーランド・ランナー歓迎会	1	7
9	教育委員会関連講演会	2	12
10	船橋市・災害時外国人サポーター養成講座	6	6
11	富岡中学校・仕事の体験談（国際貢献）	1	1
	総 計		79

浦安市国際交流協会会則改正案

現 行改正案

(名称)

第 1 条 この会は、浦安市国際交流協会（以下「協会」という）と称する。

(目的)

第 2 条 協会は、身近な生活の場において国際理解と国際親善を深め、平和な国際社会の実現と多文化が共生できる地域社会の創設に寄与する。

(活動)

第 3 条 協会は、前条の目的達成のため、次の活動を行う。

- (1) 国際交流・協力及び地域国際化に関する計画及び実施
- (2) 国際交流・協力及び地域国際化に関する情報、資料の収集及び普及
- (3) 国際交流及び地域国際化に関する諸団体との協力
- (4) その他国際交流・協力及び地域国際化の推進に必要な活動

(事業)

第 4 条 協会は、前条の活動を具現化するため、次の事業を行う。

- (1) 外国語学習による国際理解・交流事業
- (2) 日本語学習支援による国際理解・交流事業
- (3) 異文化学習による国際理解・交流事業
- (4) 姉妹都市交流による国際理解・交流事業
- (5) ホームステイ・ビジット受入による国際理解・交流事業
- (6) 地域国際化事業
- (7) 会員の資質向上に必要な事業
- (8) 広報事業
- (9) 協会の維持運営に必要な事業

(会員)

第 5 条 協会は、第 2 条の目的に賛同し、原則として浦安市在住、在勤又は在学の 16 歳以上の個人会員、団体会員をもって組織する。

(名称)

第 1 条 この会は、浦安市国際交流協会（以下「協会」という）と称する。

(目的)

第 2 条 協会は、身近な生活の場において国際理解と国際親善を深め、平和な国際社会の実現と多文化が共生できる地域社会の創設に寄与する。

(活動)

第 3 条 協会は、前条の目的達成のため、次の活動を行う。

- (1) 国際交流・協力及び地域国際化に関する計画及び実施
- (2) 国際交流・協力及び地域国際化に関する情報、資料の収集及び普及
- (3) 国際交流及び地域国際化に関する諸団体との協力
- (4) その他国際交流・協力及び地域国際化の推進に必要な活動

(事業)

第 4 条 協会は、前条の活動を具現化するため、次の事業を行う。

- (1) 外国語学習による国際理解・交流事業
- (2) 日本語学習支援による国際理解・交流事業
- (3) 異文化学習による国際理解・交流事業
- (4) 姉妹都市交流による国際理解・交流事業
- (5) ホームステイ・ビジット受入による国際理解・交流事業
- (6) 翻訳・通訳ボランティア事業
- (7) 地域国際化事業
- (8) 会員の資質向上に必要な事業
- (9) 広報事業
- (10) 協会の維持運営に必要な事業

(会員)

第 5 条 協会は、第 2 条の目的に賛同し、原則として浦安市在住、在勤又は在学の 16 歳以上の個人会員、団体会員をもって組織する。

- 2 会員となる者は、入会申込書を会長に提出しなければならない。

(役員)

第6条 協会に、次の役員を置く。

会長 1名
副会長 2名
会計 1名
理事 30名以内
副理事 30名以内
監事 2名

- 2 役員の任期は2年とする。ただし、再任については以下のとおりとし、その後は当該役職を連続にはできないものとする。

会長 3期までとする。
副会長 2期までとする。
会計 1期とする。

その他の部会役員については、原則として1期とする。

- 3 役員の辞任に伴う後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(名誉会長、顧問)

第7条 会長は理事会に諮って、協会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

(役員を選出方法)

第8条 会長、副会長及び会計の選出方法は、細則で決める。

- 2 理事、副理事及び監事は、関係団体の代表、部会の代表、その他の会員の中から理事会の推薦を経て総会において選任する。

(役員職務)

第9条 会長は、協会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 3 会計は、協会の会計事務をつかさどる。
- 4 理事は、協会の会務の基本事項を処理する。
- 5 副理事は、理事に事故あるとき、理事に代わってその職務を処理する。

- 2 会員となる者は、入会申込書を会長に提出しなければならない。

(役員)

第6条 協会に、次の役員を置く。

会長 1名
副会長 3名
会計 1名
理事 30名以内
副理事 30名以内
監事 2名

- 2 役員の任期は2年とする。ただし、再任については以下のとおりとし、その後は当該役職を連続にはできないものとする。

会長 3期までとする。
副会長 2期までとする。
会計 1期とする。

その他の部会役員については、原則として1期とする。

- 3 役員の辞任に伴う後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(名誉会長、顧問)

第7条 会長は理事会に諮って、協会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

(役員を選出方法)

第8条 会長、副会長及び会計の選出方法は、細則で決める。

- 2 理事、副理事及び監事は、関係団体の代表、部会の代表、その他の会員の中から理事会の推薦を経て総会において選任する。

(役員職務)

第9条 会長は、協会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 3 会計は、協会の会計事務をつかさどる。
- 4 理事は、協会の会務の基本事項を処理する。
- 5 副理事は、理事を補佐し、理事に事故あるとき、理事に代わってその職務を処理する。

6 監事は、協会の会計を監査する。

(会議)

第 10 条 協会の会議は、総会、理事会および運営会議とし、総会の議長はその都度、会員の中から推薦により選任することとし、理事会・運営会議の議長は、会長が務める。

(総会)

第 11 条 総会は毎年 1 回会長が招集する。ただし会長又は、理事会が特に必要と認めた時は、臨時総会を開催することができる。

2 総会において決議、又は承認する事項は次のとおりとする。

- (1) 事業報告及び決算に関すること
- (2) 事業計画及び予算に関すること
- (3) 会則の改正に関すること
- (4) 役員の選任に関すること
- (5) その他、会長が必要と認める事項

3 総会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(理事会)

第 12 条 理事会は、会長・副会長・会計及び理事をもって構成し、会長が随時召集する。

2 理事会において審議する事項は、次のとおりとする。

- (1) 総会に付議する事項
- (2) 協会運営の基本に係わる事項
- (3) 会長が特に必要と認める事項

(運営会議)

第 13 条 理事会は、総会の事業活動を円滑に推進するために、理事会のもとに運営会議を設ける。

2 運営会議は、会長、副会長、会計、及び正・副部会長をもって構成する。

3 運営会議で決定する事項は、次のとおりとする。

- (1) 事業計画及び予算にもとづく協会の具体的事業の執行に関すること
- (2) 各部会の活動の調整に関すること
- (3) その他、理事会に付議する必要のない

6 監事は、協会の会計を監査する。

(会議)

第 10 条 協会の会議は、総会、理事会および運営会議とし、総会の議長はその都度、会員の中から推薦により選任することとし、理事会・運営会議の議長は、会長が務める。

(総会)

第 11 条 総会は毎年 1 回会長が招集する。ただし会長又は、理事会が特に必要と認めた時は、臨時総会を開催することができる。

2 総会において決議、又は承認する事項は次のとおりとする。

- (1) 事業報告及び決算に関すること
- (2) 事業計画及び予算に関すること
- (3) 会則の改正に関すること
- (4) 役員の選任に関すること
- (5) その他、会長が必要と認める事項

3 総会の議事は出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(理事会)

第 12 条 理事会は、会長・副会長・会計及び理事をもって構成し、会長が随時召集する。

2 理事会において審議する事項は、次のとおりとする。

- (1) 総会に付議する事項
- (2) 協会運営の基本に係わる事項
- (3) 会長が特に必要と認める事項

(運営会議)

第 13 条 理事会は、総会の事業活動を円滑に推進するために、理事会のもとに運営会議を設ける。

2 運営会議は、会長、副会長、会計、及び正・副部会長をもって構成する。

3 運営会議で決定する事項は、次のとおりとする。

- (1) 事業計画及び予算にもとづく協会の具体的事業の執行に関すること
- (2) 各部会の活動の調整に関すること
- (3) その他、理事会に付議する必要のない

事項

(部会等)

第 14 条 会長は、協会の事業を推進するために、理事会の同意を得て、下記の部会を設ける。その他必要に応じて特別の委員会を、協会全体で実施する短期的事業については時限的な実行委員会を設けることができる。実行委員会の設立は運営会議の同意のみで可とする。言語学習部会、文化交流部会、姉妹都市交流部会、総務研修部会。

- 2 部会は、協会の事業の具体化のため、各々の所管にもとづき、企画立案及び実施にあたる。

(経費)

第 15 条 協会の経費は、次の収入をもってあてる。

- (1) 会費
- (2) 寄付金及び賛助金
- (3) 行事等の参加費
- (4) その他の収入

(会費)

第 16 条 協会の会費は、次のとおりとする。

- (1) 個人会員 年額 1,000 円
- (2) 団体会員 年額 10,000 円

(会計年度)

第 17 条 協会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局)

第 18 条 協会の事務を処理するため浦安市市民経済部地域ネットワーク課内に事務局を置く。

(委任)

第 19 条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は、会長が運営会議に諮った上、別に定める。

事項

(部会等)

第 14 条 会長は、協会の事業を推進するために、理事会の同意を得て、下記の部会を設ける。その他必要に応じて特別の委員会を、協会全体で実施する短期的事業については時限的な実行委員会を設けることができる。委員会及び実行委員会の設立は運営会議の同意のみで可とする。言語学習部会、文化交流部会、姉妹都市交流部会、総務部会。

- 2 部会は、協会の事業の具体化のため、各々の所管にもとづき、企画立案及び実施にあたる。

- 3 部会は、部会役員として部会長、副部会長、会計を各1名置く。

(経費)

第 15 条 協会の経費は、次の収入をもってあてる。

- (1) 会費
- (2) 寄付金及び賛助金
- (3) 行事等の参加費
- (4) その他の収入

(会費)

第 16 条 協会の会費は、次のとおりとする。

- (1) 個人会員 年額 1,000 円
- (2) 団体会員 年額 10,000 円

(会計年度)

第 17 条 協会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局)

第 18 条 協会の事務を処理するため浦安市市民経済部地域ネットワーク課内に事務局を置く。

(委任)

第 19 条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は、会長が運営会議に諮った上、別に定める。

(付則) この規約は、昭和 62 年 2 月 29 日から施行する。

(付則) この規約は、1991 年 5 月 11 日から施行する。

(付則) この規約は、1997 年 5 月 17 日から施行する。

(付則) この規約は、2001 年 5 月 19 日から施行する。

(付則) この規約は、2002 年 3 月 16 日から施行する。

(付則) この規約は、2003 年 4 月 1 日から施行する。

(付則) この規約は、2004 年 5 月 15 日から施行する。

(付則) この会則は、2008 年 5 月 17 日から施行する。

(付則) この規約は、昭和 62 年 2 月 29 日から施行する。

(付則) この規約は、1991 年 5 月 11 日から施行する。

(付則) この規約は、1997 年 5 月 17 日から施行する。

(付則) この規約は、2001 年 5 月 19 日から施行する。

(付則) この規約は、2002 年 3 月 16 日から施行する。

(付則) この規約は、2003 年 4 月 1 日から施行する。

(付則) この規約は、2004 年 5 月 15 日から施行する。

(付則) この会則は、2008 年 5 月 17 日から施行する。

(付則) この会則は、2010 年 5 月 15 日から施行する。

浦安市国際交流協会規約細則⇒浦安市国際交流協会会則細則

現 行

(趣旨)

第1条 この細則は、浦安市国際交流協会規約(以下「規約」という。)第7条の規定により、会長、副会長及び会計(以下「三役」という。)の選出方法に関し、必要な事項を定めるものとする。

(選出方法)

- 第2条 副会長の任期は2名を1年ずつずらした任期とする。
- 2 規約第7条の三役の選出方法は、会長、副会長及び会計の役職ごとに無記名の投票を行い、獲得票の多い者を選出する。
ただし、最多得票者が全有効投票数の3分の1以下の場合には、獲得投票数の多い順に上位3位までを対象に再投票を行なう。
また、最多得票者が複数生じた場合には、その最多得票者のみ対象に再投票する。
- 3 投票は、投票日に予め定められた場所において、三役を選出する権利を有する者(以下「有権者」とう。)本人が前項の方法によって行なうものとする。
ただし、やむを得ない事情により当日投票ができない者は所定の方法により、事前に不在者投票をすることができる。
- 4 前項の有権者は、会長、副会長及び会計並びに規約第12条に規定する運営理事及び運営副理事とする。
- 5 第2項により選出された者が、辞退した場合には、再選挙を行なう。

(附則) この細則は 2004年5月15日から施行する。

改正案

(趣旨)

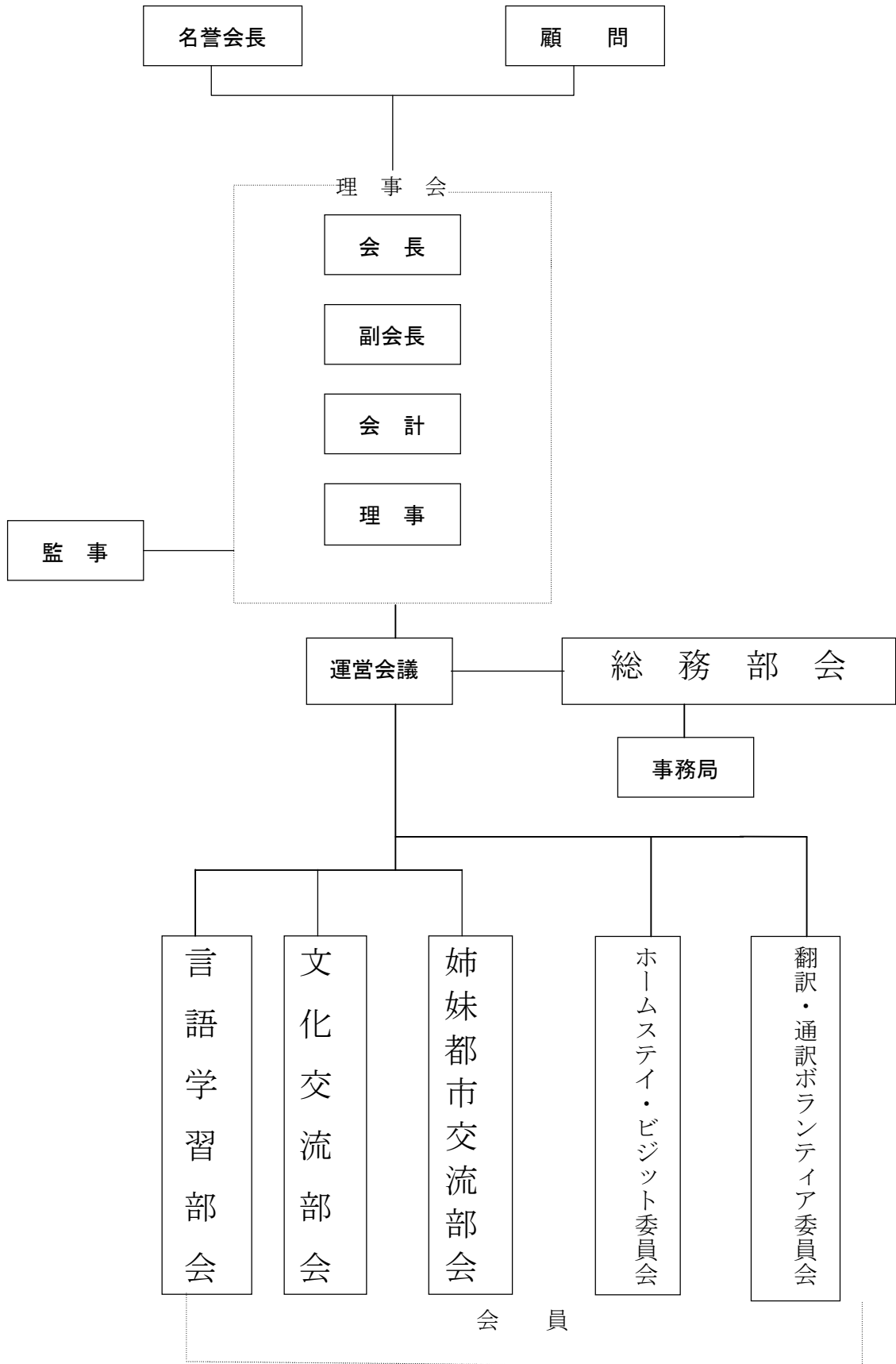
第1条 この細則は、浦安市国際交流協会会則(以下「会則」という。)第7条の規定により、会長、副会長及び会計(以下「三役」という。)の選出方法に関し、必要な事項を定めるものとする。

(選出方法)

- 第2条 副会長の任期は3名の内の1名を1年ずらした任期とする。
- 2 会則第7条の三役の選出方法は、会長、副会長及び会計の役職ごとに無記名の投票を行い、獲得票の多い者を選出する。
ただし、最多得票者が全有効投票数の3分の1以下の場合には、獲得投票数の多い順に上位3位までを対象に再投票を行なう。
また、最多得票者が複数生じた場合には、その最多得票者のみ対象に再投票する。
- 3 投票は、投票日に予め定められた場所において、三役を選出する権利を有する者(以下「有権者」とう。)本人が前項の方法によって行なうものとする。
ただし、やむを得ない事情により当日投票ができない者は所定の方法により、事前に不在者投票をすることができる。
- 4 前項の有権者は、会長、副会長及び会計並びに正・副部会長とする。
- 5 第2項により選出された者が、辞退した場合には、再選挙を行なう。

(附則) この細則は 2010年5月15日から施行する。

浦安市国際交流協会組織図



2010年度

UIFA等主要事業計画一覧表

別表

月	言語学習部会	文化交流部会	姉妹都市交流部会	総務部会	ホームステイ・ビジット 委員会	翻訳・通訳ボランティア 委員会	運営会議 ・理事会	市及び関係団体
4	外国語学習講座開講 4～3月 日本語学習支援教室開講4～3月 (中級クラス新設)			総会準備 協会ニュースNo.93号発行			運営会議 理事会	
5				総会実施	明海大学留学生ホームビジット(5月～8月)		運営会議	
U I F A 総 会 (5月15日(土))								
6	外国語講師、受講生代表懇談会 日本語学習支援者入門講座 日本語学習支援者初心者講座		第18友好の翼実行委員会発足 Dr.フィリップス高校生来日歓迎実行委員会発足	講演会(シンポジウム)企画 年末交流会実行委員会発足	アフガニスタン高校生ホームステイ受入れ	アフガニスタン高校生ホームステイ支援	運営会議	フットサル(浦安JC)(6/4) パネルディスカッション (浦安JC)(6/20)
7		明海大学留学生交流事業「七夕の会」	同上ツアー仕様書決定、旅行代理店に見積書提出依頼	市民まつり実行委員会発足 国際交流・協力フェスティバル 協会ニュースNo.94号発行		第1回イングリッシュ・カフェ	運営会議 理事会	ECOプログラムーキャンドルサービス(浦安JC)(7/7) 納涼花火大会
8			旅行代理店からの見積書受付					納涼盆踊り大会 日本PTA全国大会(8/27-28)
9	新規受講者のための外国語講座見学会開催		旅行代理店の選定	地域交流サロン			運営会議	
10	外国語講座後期受講生申込受付 日本語学習支援者スキルアップ講座	外国文化研修事業「講演会」	広報うらやす10月1日号で参加者募集 10月末参加者締め切り 市民まつりでツアーのPR	市民まつり参加 協会ニュースNo.95号発行	明海大学留学生ホームビジット受入れ(10月～12月)	第1回ナショナル・デイ	運営会議	市民まつり
11	日本語学習支援グループ交流会	在住外国人交流事業「日帰り研修旅行(UFRAと共催)」	第1回 オリエンテーション Dr.フィリップス高校生来日滞在支援	総会・講演会実行委員会発足 地域交流サロン	Dr.フィリップス高校生ホームステイ受け入れ	Dr.フィリップス高校生来日滞在支援	運営会議 理事会	市民活動フェスティバル Dr.フィリップス高校生(11/19日來日-27日帰国)
12	年 末 交 流 会						運営会議	UFRAクリスマスパーティー
			第2回 オリエンテーション 第3回 同上	年末交流会実施	南アジア高校生ホームステイ受け入れ	南アジア高校生ホームステイ支援		
1	日本語学習支援者スキルアップ講座 国際交流・協力フェスティバル参加	明海大学留学生交流事業「お正月遊びと着付けの会」	第4回 オリエンテーション 国際交流・協力フェスティバルで「友好の翼」広報活動	総会準備・講演会準備 協会ニュースNo.96号発行 国際交流・協力フェスティバル実施 地域交流サロン			運営会議	国際交流・協力フェスティバル
第 18 回 友 好 の 翼								
2	外国語講座見学会開催 日本語学習支援者入門講座 日本語学習支援者初心者講座		第5回渡航前オリエンテーション 「第18友好の翼」実施 浦安市交流親善人形交換式	総会準備・講演会準備 講演会(シンポジウム)実施			運営会議	東京ベイ浦安シティマラソン
3	外国語学習グループ「語研フェスティバル」 外国語講座前期受講生申込受付		「第18友好の翼」報告会 友好の翼・写真交換会の実施	総会準備			運営会議	青少年海外派遣
備考	定例会：毎月第3土曜日	定例会：毎月1回開催 青少年海外派遣事業や他部会の日本文化体験にも協力	実行委員会：毎月第2土曜日 10：00～11：30	定例会：運営会議後、月1回ホームページを最低月1回は更新 市民活動センターHP更新			第3土曜日	日付無きものは、変更の可能性あり

2010年5月15日

浦安市国際交流協会(UIFA)

〒279-0003

浦安市海楽1-12-8 ASA2F

TEL&FAX 047(381)5931

e-mail uifa@jcom.home.ne.jp

<http://members.jcom.home.ne.jp/uifa>